

EUAA 愛媛大学校友会
Chime University Alumni Association

校友会報

創刊号

No. 01
2015.11 発行



松山城



市内電車と坊っちゃん列車



グリーンプロムナード
(城北キャンパス)

発行：愛媛大学校友会事務局

〒790-8577 松山市文京町3番 校友会館2階
Tel:089-927-8610 / Fax:089-927-8609

E-mail:office@koyu.ehime-u.jp
webサイト:http://koyu.ehime-u.jp/

愛媛大学校友会
会長 森本 惇
校友会報創刊のご挨拶



愛媛大学
学長 大橋 裕一
会報誌創刊に寄せて



会員の皆様には、日ごろより校友会の活動に対しご理解とご協力を賜っておりますことに心より感謝申し上げます。

このたび校友会では、会員の皆さまへの情報提供をより充実させるため、校友会の会報誌を年1回、11月に発行することにいたしました。この校友会報により、これまで以上に校友会に関心を寄せていただき、校友会が行う様々な活動を身近に感じていただければ幸いです。

校友会はご承知のとおり、愛媛大学の教育・研究を側面からサポートすることを主たる目的として平成16年3月に設置された団体です。在学生に対する課外活動支援、就職活動支援、学生海外派遣援助、学生用図書整備に係る資金援助、留学生支援などを中心に活動を行っています。また、卒業生や退職教職員には愛媛大学と校友会が主催するホームカミングデイや講演会などを開催しご参加いただいております。これからも校友会や愛媛大学が実施する様々な事業を、会員の皆さまにお知らせする所存です。

この校友会報を通じて、会員の皆さまからご意見をいただき、校友会の一層の発展に寄与するとともに、会員相互のより一層の親交を賜りますようお願い申し上げます。校友会報創刊のご挨拶といたします。

平成27年11月吉日

愛媛大学校友会の皆様方には、日頃より本学の教育・研究、学生支援等につきまして、格別のご支援をいただき深く感謝申し上げます。

この度の校友会会報誌創刊にあたり、お祝いのご挨拶を申し上げます。

愛媛大学は、平成16年の法人化を契機に「地域にあって輝く大学」として、地域社会の発展を牽引する人材の育成や産業、医療、教育など多様な分野に高度な知識と技術を提供するとともに、地域産業イノベーション機能の強化を図り、本学が強みとする先端研究分野において、特色ある国際研究拠点の形成を推進してきました。

さらに、平成28年度には、地方創生の中核となる人材育成機能を強化するため、「社会共創学部」を新設するとともに、「法文学部」、「教育学部・教育学研究科」、「理工学研究科」、「農学部・農学研究科」の改組など、開学以来とも言える大きな教育組織の改革を行います。

このように、本学は、さらなる教育・研究等の質の向上を目指し、今後も全学を挙げて改革に取り組んでまいりたいと思っておりますので、校友会の皆様方におかれましても、より一層のご支援ご協力を賜りますようお願いいたします。

最後に、愛媛大学校友会のますますのご隆盛、そして、この会報誌が校友会会員の皆様と本学との架け橋となることを祈念いたしまして、創刊にあたってのご挨拶とさせていただきます。

平成27年11月 吉日



愛媛大学理事・副学長 (校友会担当) 仁科 弘重



本年4月から校友会担当の理事・副学長を拝命している仁科弘重です。よろしくお願いたします。自身の専門は植物工場、園芸施設で、植物工場研究センター長も担当させていただいています。全学の役員ははじめてですが、部局長(農学部長)の4年間の経験も活かし、職務に専念したいと考えています。

まず、自己紹介的な話しから始めますが、愛媛大学に着任したのは昭和61年で、来年の3月で愛媛大学の職員歴が30年になります。専門は植物工場温室における環境制御で、具体的には、植物の生育を好適に維持するために、温室内の温度、湿度、CO₂濃度、光(強度、波長分布)などを効率的に調節する方法を研究しています。また、室内に植物(主に観葉植物)を配置することによって居住者の快適性を向上させる「グリーンアメニティ:green amenity」に関する研究も行っています。

校友会以外に職務として担当している社会連携に関しては、教員の組織として「社会連携推進機構」と職員の組織として「社会連携支援部」があり、教員、職員のまさに「連携」によって、愛媛大学の社会連携活動を展開しています。社会連携推進機構が設置されたのは国立大学法人化後の平成16年6月ですが、その流れは、平成6年に設置された「地域共同研究センター」まで遡ることができます。大学のもつ研究力、研究シーズを社会や地域産業の発展に活かすことを目的として産学連携が始まり、現在の「産学連携推進センター」「知的財産センター」となっています。また、地域密着型研究センターと総称される5つのセンター(地域創成研究センター、防災情報研究センター、南予水産研究センター、植物工場研究センター、紙産業イノベーションセンター)も本機構に属しており、センターが開設されている地域の産業イノベーションを通じて、地域の活性化に貢献しています。これらのセンターに教育コースが併設されている場合

は、教員と学生(学部、大学院)の共同作業的研究とともに、様々な研究手法・技術の伝授も含めた人材育成が行われています。その成果として、技術を身に付けた卒業生・修了生が地域で活躍することになり、さらなる活性化に繋がっています。

さて、愛媛大学も、国立大学法人に移行してから12年が経過し、平成28年4月から第3期中期目標期間に入りますが、第3期中期目標期間では「地域中核機能の強化」を目指すことにしました。地方からの人口流出の抑制も含む「地方創生」が政府全体の重点施策として推し進められている中、愛媛大学も採択されている「COC事業」「COC+事業」(ともに、文部科学省事業)は、学生に、地域のことをよく知ってもらい、さらに、地域でのキャリア形成を考えてもらい、最終的には、地域に就職してもらうというものです。しかし、地域に就職してもらうためには、その地域に卒業生の受け皿(就職口)が必要であり、その受け皿を増やすためには、地域産業のイノベーション、地域の活性化が必要です。学生に地域でのキャリア形成を考えてもらうためには大学の教育・人材育成力が必要であり、地域産業のイノベーションには大学の研究・技術開発力が必要です。愛媛大学は、持てる総合力を駆使し、地域創生に貢献していきたいと考えています。

校友会には、日頃から愛媛大学の運営に、資金的な補助も含めて多大なご支援をいただき、厚く御礼申し上げます。現在、私は、校友会担当の愛媛大学理事であり、また、校友会の理事でもあり、大学の立場と校友会の立場の両方を兼ねていることとなります。基本的に、校友会と愛媛大学の良い関係を維持、発展させることが、責務であると理解しています。校友会の会長、理事、会員の皆様の考え、愛媛大学の学長、教職員の皆様の考えを広く理解し、校友会と愛媛大学の良い関係を、さらに良い関係にすべく、努力していきたいと考えております。ご支援のほど、お願い申し上げます。

ご挨拶	02
大学支援事業(入学生支援)	04
課外活動支援事業	05
海外留学支援事業	06
就職支援事業	08
先輩に学ぶ	09
大学支援事業(卒業生支援)	16
会員交流事業	17
社会連携事業	18
ホームカミングデイ	19
子規俳句カレンダー	20
国内支部	21
海外支部	23
校友会役員紹介	24
事業報告及び事業計画、 決算及び予算	25
会員登録、組織、会員、会則	26
愛媛大学御幸学生宿舍 現代編	27
愛媛大学御幸宿舍 回想編1	28
愛媛大学御幸宿舍 回想編2	29
新学部(社会共創学部)設置	30
間違い探しクイズ	32
事務局だより	32
編集委員メッセージ	32

入学式の様子 2015年4月6日(月),「ひめぎんホール」にて愛媛大学入学式が開催されました。

平成27年度愛媛大学入学式及び大学院入学式が4月6日(月)の午前10時から「ひめぎんホール」(愛媛県県民文化会館)において挙行され、1,973人の学部生及び419人の大学院生が入学しました。

入学式では大橋学長の式辞の後、中村時広愛媛県知事の祝辞に続いて、森本惇愛媛大学校友会会長から「自ら学び、考え、実践する能力と次代を担う誇りと豊かな人間性を持つ人材、そして社会の発展を牽引し、日本を支え得るリーダーとして成長されますよう、また、そのためには好奇心旺盛で学ぶことに貪欲に、自らを向上させる気概を持った人間になっていただくよう、期待申し上げます」と祝辞がありました。



愛媛大学校友会では学部入学生に、学修ポートフォリオファイルと、校友会会員登録記念品を進呈しました。

会長祝辞 -2015.4.6-

本日、愛媛大学にご入学された皆さん、ご入学誠におめでとうございます。

また、ご列席のご家族の皆様におかれましても、希望に満ちたお子様の晴れ姿をご覧になられ、お喜びも一入(ひとしお)のものがあるかと心よりお慶び申し上げます。

さて、愛媛大学校友会は、平成16年3月20日に愛媛大学の同窓生をはじめ、退職教職員、現教職員、そして学生の皆様に会員として、二つの目的を持って設立されました。

その一つは、愛媛大学の目的・使命である教育・研究の進展と地域への貢献を側面から支援し、愛媛大学の発展に寄与すること、もう一つは、私ども会員相互の親交を図ることです。その目的を達成するため、校友会は様々な事業を行っていますが、大学支援事業は、学生の皆様への支援が中心であり、学生の課外活動に対する支援、学生の

海外派遣制度への資金援助、就職支援バス運行等による就職活動への支援、学生用の図書整備に対する資金援助、海外インターンシップへの支援、外国人留学生への支援など、大学として対応することが難しかった課題について、大学側と話し合いながら事業を推進しています。



入学式の様子

今後、校友会は、これらの事業を更に充実させるとともに、国内外の校友会支部と連携を図りながら、平成22年3月に新築された校友会館を拠点とした会員相互のネットワークの拡充、大学と地域社会の交流への支援など、幅広く愛媛大学の活動を支援させていただき所存でございます。

今、日本は、財政不安、東日本大震災からの復旧・復興、少子高齢化と社会保障の問題等、多くの深刻な問題を抱えていますが、大学生となられた皆様

方には、自ら学び、考え、実践する能力と次代を担う誇りと豊かな人間性を持つ人材、そして社会の発展を牽引し、日本を支え得るリーダーとして成長されますよう、また、そのためには好奇心旺盛で学ぶことに貪欲に、自らを向上させる気概を持った人間になっていただくよう、期待申し上げます、お祝いの言葉とさせていただきます。

本日は、誠におめでとうございます。

愛媛大学校友会会長 森本 惇



中村時広愛媛県知事の祝辞



理学部数学科鈴木さんの宣誓



森本校友会会長の祝辞

平成27年8月6日(木), 愛媛大学校友会館2階サロンで, 学生団体活動援助金交付式を大橋愛媛大学長及び森本校友会会長出席のもと実施しました。

これは, 校友会学生支援事業の一つで, 愛媛大学学生団体評価実施規程に基づき, 大学が平成26年度における課外活動状況を上位からA~Eの5段階に評価し, 優秀な学生団体に対し校友会から活動費(総額480万円)を資金援助するものです。

これにより, 校友会の課外活動支援事業を理解していただくとともに, 学生の皆さんの課外活動の更なる飛躍, また励みにつながることを目的として平成19年度から実施し今回で9回目の交付となりました。

【給付対象

評価C以上: 給付団体 計46団体
(体育系30団体, 文科系16団体)】

【今回のA評価の団体】

- ・体育系6団体
 - ・ダンス部
 - ・漕艇部
 - ・男子バレーボール部
 - ・少林寺拳法部
 - ・女子サッカー部
 - ・チアリーディング部
- ・文化系4団体
 - ・交響楽団
 - ・E.S.S
 - ・合唱団
 - ・天文学

交付式では, 評価Aサークルの紹介があった後, 大橋学長から「これからもサークル活動を通して, 卒業までに仲間と切磋琢磨しながら自分の資質・能力を磨き, 社会でたくましく生きる力を身につけることを期待します。」との挨拶がありました。

引き続き森本校友会会長から体育系サークル代表者と文科系サークル代表者にそれぞれ活動援助金の目録が授与され, 「本日の表彰はそれぞれの団体が, 日頃から真摯に練習や稽古に取り組んでこられた結果が認められたものであり敬意を表します。校友会は愛媛大学の教育・研究を側面からサポートしています。学生の皆さんも校友会の様々な支援活動を理解してください。」との挨拶がありました。



記念撮影の後に行われた懇談では, 各サークル団体から昨年度や今年度の実績等の報告, 大学への要望などについて意見交換がありました。愛媛大学学生団体のより一層の活躍を期待しています。

学生の学習環境充実のために, 大学の図書館(城北地区中央図書館, 重信地区医学部分館, 樽味地区農学部分館)へ毎年300冊以上の学生用図書を寄贈しています。

- ・平成24年度…324冊
- ・平成25年度…632冊
- ・平成26年度…325冊

※寄贈本には校友会の印章が押印してあります。



留学する学生のために、渡航費や海外旅行傷害保険等の一部を支援しています。

また、海外留学安全対策協議会(JCSOS)のJ-Basic加入料を負担しています。

この支援制度により、海外留学した学生の体験記を掲載します。

「上海研修を通して」

法学部総合政策学科4年 片山 満里奈

概要

〈研修期間〉2014年9月22日(月)～9月26日(金)

〈研修先〉中国 上海市 上海師範大学

〈目的〉上海視察・アカペラ公演

日程

〈1日目〉15:00頃空港に到着。バスでホテルまで移動する。18:00頃、上海師範大学に訪問し、夕食をご馳走になる。

〈2日目〉9:00から学校でアカペラの練習を行い、10:30頃から上海視察に出かける。「豫園」という明代の庭園を視察し、そこで昼食する。15:00から「南京東路」という繁華街で買い物を行い、夕方ホテルへ帰宅。ホテルの近くで夕食を食べる。

〈3日目〉午前中は「周荘」という水郷を視察する。そこで昼食を食べる。午後から「新天地」というレトロな雰囲気のストリートを散策する。夜は夜景の見えるレストランで食事し、有名な夜景スポットを見て帰る。

〈4日目〉アカペラ公演本番の日。午前中は学校内でアカペラの練習を行い、午後から会場でリハーサル。19:00からアカペラライブ開演。大成功で幕を閉じる。

〈5日目〉早朝にホテルを退出し、9:00頃中国を出国する。

感想

わたしは1年の頃に中国語を履修していたことがきっかけで、中国に興味があり、以前から行ってみたいと思いがありました。

そんな中、今回アカペラの上海公演のお話をいただき、またとない絶好の機会だと思い、研修に参加させていただきました。

上海に行って、わたしがまず感じたことは、近代的な建物が多く、都会であるということでした。上海に到着してすぐに乗ったバスから見えた景色は、同じ形の高層ビルが一面に立ち並んでいて、驚いたのと同時に、少し無機質な印象を覚えました。

しかし、2日目・3日目に視察で訪れた豫園と周荘という場所は最初の印象とは異なり、とても情緒ある雰囲気で、私のお気に入りの場所になりました。「豫園」は500年以上前に造られた庭園で、建物や橋など一つ一つ美しく、まもなく世界遺産に登録されるだろうと言われている所が分かりました。また、「周荘」という場所も900年以上の歴史を誇る水郷古鎮だそうで、残っている建物や遺品などから、当時水の都として大変栄えていた様子が感じられました。今はどちらの場所も観光地化していて、観光客向けのレストランやお



土産店が多くあり、歴史的な建物と近代的な建物が入り混じっている不思議な空間でした。今回は視察する時間も限られていたため、詳しい歴史は分かりませんでした。また次回訪れたときはもっと深く歴史背景を知りたいと思いました。

2日目に訪れた「南京東路」と3日目に訪れた「新天地」という場所は若者向けのストリートで、人通りも多く、東京の渋谷を歩いているような感覚でした。出ているお店も日本にもあるお店ばかりだったので、上海にいることを忘れてしまうくらいでした。

また、2日目の夜に訪れた夜景スポットは、無数のネオンが輝いており、今までに見たことのない美しさでした。さすが「東洋の魔都」と言われているだけあり、魅惑的な街だと思いました。

わたしが最も印象に残ったのは、上海の人たちとの繋がりができたことです。上海に行く前は、中国人の中には反日感情を抱いている人もいると聞いていたので、少し不安もありました。しかし、実際に上海に行ってみて感じたのは、上海の人たちの心の温かさでした。一緒に上海を回ってくれた上海師範大学の学生やアカペラ公演に来てくださったお客さんはみなさんととても親切



で、日本の文化やわたしたちを受け入れて下さいました。特に、わたしのチームはアニメソングをアカペラで歌ったのですが、オタクの格好やメイド服の衣装が上海の人たちに大変受け、また「ドラえもん」や「残酷な天使のテーゼ」を口ずさんでくれるお客さんもいて嬉しかったのを今でも覚えています。同時に歌やアニメの影響力の強さを感じました。メディアでは日中関係が悪化した、中国人の一部は反日感情を強く持っているという報道もありますが、一概にそうとは言えないと思いました。日中外交がどうあれ、民間交流は行われているのです。その証拠に、わたしは公演を聴きに来てくれた上海の大学生と連絡先を交換し、今でも連絡を取っています。わたしはこの研修によって、上海の魅力に惹きこまれ、さらに中国のことが好きになりました。

この研修を通して、わたしは中国の歴史、文化、中国語や中国人の考え方など様々なことに興味を持ちました。学生生活あと半年で、もっと勉強していきたいと思います。最後に、引率して下さった先生、ならびに国際連携課の職員の方々のおかげで、有意義な研修を過ごすことができたことに感謝します。ありがとうございました。



2014アメリカ College of Lake County
法文学部人文学科3年 小池 佑太

概要

〈研修期間〉2014年8月19日(火)～12月28日(日)

〈研修先〉アメリカ合衆国イリノイ州



アメリカでの私の暮らし-College of Lake Countyでの生活を通して- 私は2014年8月19日から同年12月28日までの4か月間で、アメリカ合衆国イリノイ州に語学留学を行いました。私の通っていた学校はCollege of Lake County (CLC) という短大のような大学で、愛媛大学でいうところの共通教育の英語コミュニケーションや総合英語のような講義を1学期間受講しました。こちらの学校には日本人が5、6人ほどで、事前に心配していた「日本人でかたまってしまい、留学した甲斐がなかった」という事態には陥る心配のない環境でありました。基本的に日常会話は英語であり授業も英語で行われるので、そういった意味でも大変英語慣れした留学であったかなと感じています。今回は私のアメリカでの4か月間を「日常生活」「学校での生活」「休日の生活」の3つのテーマに分けて紹介したいと思います。たった4か月間ではありましたが比較的良好に勉強し、よく遊んだ方だと自負しています。今後留学されるみなさんの参考に少しでもなればと思います。

1. 日常生活

まずアメリカで苦労したのは、買い物やホテルでの現地のスタッフとのやり取りと、日本とは異なった生活文化に適應することです。ファーストフード店でサンドウィッチ一つ買うのに英語が聞き取れず大変な思いをしたり、ホテルのフロントの人との会話が十分に成り立たなかったり、日本では当たり前に行っていたことが、言語の壁から十分には出来なくなり最初は大変戸惑いました。最初の1、2か月はスタッフとのやり取りを避けがちではありましたが、最後の2か月間は英語の会話に慣れた部分もあり、自らきっかけを作って会話しに行くほどに成長しました。印象深いのは、帰国が間近に迫ったスーパーでレジの接客をしてくれたスタッフが数年前にアメリカに他国から移住してきた方で「大変だと思うけど頑張って、またアメリカにおいでね」と言われたことでした。ほんの些細なことではありますが、「生活に慣れる」ことを感じるたびに喜びを噛みしめていました。また、実生活を通じて感じた点は、アメリカで生活するには車が必要不可欠だということです。私は車を持っていなかったため大変不便な思いをしましたが、ルームメイトをはじめとする友人たちに送り迎えをもらえることが多かったのになんとか生活できました。特にショッピングの際は、スーパーまでの距離は遠い、かつ、1つ1つの商品の重量がかなりあるため、本当に苦労しました。今後アメリカに留学される方は、そういった意味でも移動手段が事前に確保できていると安心かもしれません。



2. 学校での生活

ここでは主に授業についてとそのほかの時間の過ごし方をお話したいと思います。まず授業についてです。College of Lake County は様々な国からの留学生を受け入れているため、大学レベルの講義を受けるための英語力を備えるカリキュラムが用意されており、履修の前に英語のテストを受け、点数に応じて4段階のレベルでクラス分けがなされました。私は1番上のレベルのコースを履修し、スピーキング・リーディング・ライティングの3つの授業を受けていました。時間割は愛媛大学とはほぼ同じ時間帯で月曜2・3限、水曜2・3限、金曜2限という1週間の時間割であり、クラスは10名強の少人数クラスでした。授業内容は教科書を用いて文法事項を確認したり、Pat Conroy作のThe water is wideという小説を毎授業で読んだり、プレゼンテーションについて学んだりしました。その中でも小説を読む授業は特に骨の折れるもので、予習をしっかりと行わないととてもついていけない授業ではありませんでした。どの授業も大変ではありましたが、クラスメイトとも徐々に仲良くなりとても楽しい授業だったと感じています。次に授業外での生活についてです。基本的に私はサークル活動に参加するか、学校にあるホールで友人たちと勉強したり会話を楽しんでいたりしていました。サークルはInternational Club(留学生サークル)とAsia Student Alliance(アジアサークル)の2つに所属し、それぞれ週1回集まって交流を深めていました。これらのサークルでは休日にちょっとした旅行を行ったり、ハロウィンやクリスマスといったイベントの時期にはア

メリカらしくお祝いパーティがあったりしました。こうして仲良くなったサークルメイトやクラスメイトとそれ以外の時間に一緒にいることが多くなり、時間に余裕があるときは、ショッピングモールに買い物に行ったり、外にご飯に行ったりすることもありました。その結果、時間が経つにつれて学校に行くのがより楽しく感じるようになりました。こうした自身の経験から、毎日を楽しむ過ごすためにはもちろん、語学の上達にも「遊び」は留学において特に重要なものだと感じました。

3. 休日の生活

普段は友人やルームメイトと車でドライブに遊びに出たり、夜はバーや自宅・友人の家でお酒を楽しんだり、休日を利用してシカゴへ(滞在地から電車で1時間)旅行に行ったりしました。特に印象に残っているのは、3か月間シェアハウスをしていたルームメイトと過ごした時間です。私は日本人2人、イエメン人の兄弟2人の計5人で1軒屋をシェアしていました。お互いに時間ができた時にはルームメイトが持っていた車で農園や教会、ハロウィンパーティーなど、アメリカならではの場所へ連れて行ってもらいました。彼らとは最初は見ず知らずの他人でしたが、帰国直前には兄弟のような存在になり大変心に残るシェアハウス生活を送ることが出来ました。私の経験からは、ルームシェアで得られる経験は貴重なものであると感じたので、機会があるようならぜひお勧めします。私はアメリカへの留学が初めての海外渡航で、言語の面や宗教観をはじめとする価値観の違いなど、留学前は多くの心配を抱えていました。しかし、行ってみると意外となんとかなるもので、唯一無二の経験を積めたと感じており、同時にもっと海外の様々な国々の人々と交流したいと考えるようになりました。卒業後は、こうした経験を活かしてより世界にアプローチしていけるような仕事に就きたいと考えています。留学を少しでも考えているみなさんもぜひ、世界に触れる第一歩としてチャレンジをしてみたいかがでしょうか。



就活ツアー(バス運行、交通費援助)支援

愛媛大学および各学部後援会と共催で、東京・大阪や広島で開催される合同企業説明会へ参加する在学生のためにバスの運行や交通費の支援を行っています。

就活学生と卒業生との情報交換会開催

首都圏及び近畿圏への就活ツアーに参加した就活学生と同圏内に在住している卒業生との情報交換会を開催しています。この情報交換会は、就職や職業生活等の幅広い情報を収集し、今後の就職活動に役立てる目的で実施するものです。さらにこの情報交換会を通して、本学学生と本学卒業生の交流を促進することで、校友会組織を拡充し、卒業生の協力による本学就職支援体制の強化充実を図るものです。

●平成27年3月4日(水) =大阪コース=
就職支援バスを運行(貸切バス2台)して情報交換会を開催しました。

大阪の合同企業説明会「マイナビEXPO」(インテックス大阪)に併せて実施しました。今年度から就活の解禁が3月1日となり、年度末の平日の開催にもかかわらず、近畿圏在住の卒業生22人と就活生78人との情報交換会を大阪梅田のブリーゼプラザで開催しました。



情報交換会では、単なる就職活動のノウハウだけでなく、職業人としての心構えや仕事に対する姿勢など幅広い情報交換が活発に行われ、本学学生と卒業生との新たな交流が生まれました。卒業生の皆様、お忙しいところありがとうございました。

●平成27年3月7日(土) =東京コース=
就活ツアー参加学生との情報交換会を開催しました。

東京の合同企業説明会「マイナビEXPO」(東京ビッグサイト)に併せて実施しました。この就活ツアーは平成18年度から実施しており、交通費の支援や就活生と首都圏在住の卒業生との情報交換会を開催し、在学生の就活を応援しています。今回の情報交換会は、東京サテライトオフィスに近いダイナイト百代茶屋で開催し、卒業生30人と就活生66人の合わせて96人が参加しました。



情報交換会では卒業生と在学生との活発な意見交換が行われ、在学生は真剣な眼差しで先輩に質問していました。就活中の皆さん、最後まで頑張ってください! 卒業生の皆様、お忙しいところありがとうございました。

●平成27年3月6日(金)

広島市の合同企業説明会「リクナビSUPER LIVE」(広島県立総合体育館)に貸切バス2台で就活学生69人が参加しました。

平成27年度の情報交換会の開催は次のとおり計画しています。卒業生の皆様のご出席を心よりお待ちしております。(都合により変更となる場合があります。)

●大阪コース 平成28年3月1日(火) 18:30～
「ブリーゼプラザ」7階小ホール 大阪市北区梅田2-4-9

●東京コース 平成28年3月19日(土) 18:30～
「グランパークプラザ」4階(ホワイエ) 東京都港区芝浦3-4-1

本学卒業(修了)後、愛媛県内企業等で活躍されている先輩を現役の愛大生が訪問取材し、先輩の生の声を掲載する『先輩に学ぶ』をホームページに掲載しています。これは、様々な業種に就かれている卒業生同士や後輩学生との交流を図るとともに、校友会会員相互のネットワークを拡大させることを目的としています。

また、先輩からの有意義な学生生活の過ごし方や就職活動等へのアドバイスなど、先輩だからこそ教えてもらえる社会のこと、大学のこと(先輩学)をインタビューしています。

三浦工業(株) 巻田 優花さん(平成26年3月取材)

(2007年3月, 理工学研究科生物地球圏科学専攻
(現・環境機能科学専攻)卒業)

〈現在〉

三浦工業(株) RDセンター 環境研究室

「好きだから頑張れる, だから好きなことをとことんやってほしい」という言葉通り, 好きな実験を続けられる仕事を選びました。



現在の仕事を選んだ理由・きっかけは何ですか。

巻田さん

大学に入学する前から、実験をやりたいと思っていました。学部から院にかけて実験を続けていて、就職も実験をする仕事がしたいという希望を持っていました。大学院のときに、先に就職した同級生や後輩から「三浦工業が良い」と勧められたのがきっかけで、三浦工業を受けたんです。友達に勧めようと思ったら、自分が本当にいいと思っていることじゃないとできませんよね。だから、学生時代の友達が「良いよ」と言ってくれるところに行きたいって思いました。

運よく内定をもらって、さらに運よく希望していた配属先になりました。本当に運がよかったと思います。今は、私も自信をもって、「三浦工業は良いところだよ」と言えますね。

現在、どのような仕事を担当していますか。

巻田さん

軟水の効果・効能を調べています。「軟水が良い」という漠然とした事実を、具体的にお客様に伝えるため、実験で調べデータを取ってまとめる作業をしています。時には実験で得られた日常生活における軟水の活用法を分かりやすくまとめたチラシやパンフレットを作成したり、直接お客様に説明したりすることもあります。

最近携わっていたのは、軟水に適した石鹸の開発です。軟水で手を洗う際に、より殺菌効果があり、肌に負担のかからない石鹸の成分を実験で調べ、石鹸メーカーさんに作ってもらいました。その後は、軟水はペットにもいいので、トリミングサロンや動物病院でも使えるような、軟水を最大限に活かすペットシャンプーも開発しました。

休日はどのように過ごしていますか。

巻田さん

運動音痴なんです(笑)。でも、冬はスノーボードをしています。休日になると、久万高原町などに出かけて滑ります。

学生の頃から始めたので、最近では体も慣れて、楽に滑ることができます。

それ以外の季節にはバイクでツーリングをしています。ヤマハのSR400に乗って、日帰りでも四国のいろいろな場所に行っています。年に1回は、九州まで行って、1泊して温泉に浸かることもあります。

長期休暇には海外旅行へ行くことが多いですね。ヨーロッパが好きで、個人的な旅行でも、学会などの研究発表でも訪れることが多いです。特にウィーンはおすすめです。行ったことがない人はぜひ! そういったイベントのない休日は読書や料理をして過ごします。

在学時の所属サークル・部活を教えてください。

巻田さん

ユースホステル部に入っていて、九州や関西を中心に、いろいろな場所へ旅行していました。夏には、伊豆で60km踏破をやったこともあります。テントや鍋などあらゆるものをみんなで担いで、野宿を続けながら60kmを自分たちだけで歩きます。

登山や中学生を招待してのキャンプ、観光旅行みたいなときもあって、いろいろなイベントを合わせると2ヶ月に1回は、旅行やキャンプをしていましたね。学祭にも出店して唐揚げとかを作っていました。

普段から、飲み会も多く仲もよかったですね。でも、飲み会の席は厳しく、飲み会のルールを最初に指導されて、何度も怒られながら覚えました。その

ときの経験は、社会に出た今、役に立ってますよ(笑)。

社会人になって気をつけていること・大事にしていることはありますか。

巻田さん

いろいろある中でも、特に、人との関係を大切にしています。いろいろな人とのつながりで、様々な仕事ができますからね。

あとは、正直に仕事をする、そして正直に生きることです。うそをついてもしんどいだけです。

それと、納得いくまで考えることです。パツと見てこうだ、と決めつけるのではなく、背景までいろいろと考えます。どうしてこうなっているのだろう、この人の本当に言いたいことや考えていることは何だろう、と深く深く考えます。

愛大生へのメッセージをお願いします。

巻田さん

好きなことじゃないと頑張れないと思うので、自分でいろいろ考えて、「自分が好きなことをやってください」ということを言いたいですね。周囲に流されることなく、今やりたいことをやったり、自分のやりたいことに向かって頑張って欲しいです。

でも、やると決めたからには、誰にも負けないくらいやるとか、真剣にやった方がいいと思います。少々くだらないことでも、自分の好きなことを突き詰めてやること、一生懸命やるのが大事です。

一回頑張ることを知っている人は、それが一つの経験となって、何かの時にその経験が力になって頑張ることができると思って生きてきました。

私もそうありたいと思いつけています。

(株)愛媛CATV 岡田 和樹さん・越智 綾香さん(平成26年4月取材)

(岡田さん:2012年3月 法文学部総合政策学科卒業)
(現在 営業部)

(越智さん:2012年3月 法文学部人文学科卒業)
(現在 放送部)

松山が好きで、地元に残って貢献したいという思いを抱いて入社した同期のお二人は、仕事のやりがいも余暇の楽しさも十分に堪能しています。



現在の仕事を選んだ理由・きっかけは何ですか。

越智さん

もともと松山出身で、大学進学時も就職時も、「松山が好き、だからここに就いて就職して、地元に残って貢献したい」という思いがありました。愛媛CATVを受けた理由の一つは、実家がサービスに加入していたので、もともと親しみがあって、いいサービスだってことが分かっていたからです。

岡田さん

僕もまったく同じですね。僕の場合、最終的な決め手になったのは、会社訪問です。採用前から積極的に会社訪問を告知していて、実際に社内をくまなく見て、先輩の社員さんとお話させてもらって、生き生きと働いている様子が分かったんです。

合同説明会などで話を聞くだけでは分からなかった、自分が働くイメージを具体的に抱けたので、ここに決めました。

現在、どのような仕事を担当していますか。

岡田さん

イベントの企画がメインの仕事です。もちろん直接お客様のお宅を訪問してご契約を頂いたりもしますが、主には家電量販店やスーパーでの販促イベントをゼロから企画しています。

営業代理店さんの手配に始まり、イベントを実施させて頂けるか店舗様をお願いをして、一緒に入ってくれる派遣スタッフさんを手配し、告知をしてイベント当日の運営をチェックして、イベントでご契約頂いた契約書を管理する、という流れです。

楽しいですよ！眼に見える形で自分が頑張った成果が現れるので、本当にいい仕事をさせて頂いていると思います。逆に自分が考えたイベントが失敗したら数字が挙がってこないで、プレッシャーもあって確かにしんどいですが、やりがいがありますね。

越智さん

普段メインでしているのは、カメラマン(兼リポーター)です。CATVでは取材件数がとにかく多く、その分たくさん取材できるように一人で取材します。自分でカメラと三脚を持って行って、インタビューします。取材のアポ取りから、取材映像の編集、映像のナレーションも自ら吹き込んで、放送するまで責任をもって一人で行っています。

私はこれまで放送や映像とは無縁の人生だったのですが、周りの先輩方から教わり、今ではサポートを得ながらも一人でこなせるようになりました。あと、放送部の中では少数派ですが、司会業もやっています。

休日はどのように過ごしていますか。

越智さん

大学時代とすごく変わったとは思いません。ただ、使えるお金の額が増えたので、お買い物に行く回数が増えた感じはあります。

友達と外食することも多いので、実家に暮らしていますが、家にはあまりいないことが多いです。



岡田さん

家にいないのは一緒だけど、全然違う(笑)。今思うと、大学時代はグダグダな生活を送って、平坦な1週間はあまり面白くなかったような。今は、平日は朝からバリバリ仕事！、土日は休みだから遊び！と、メリハリをつけています。香川へうどんを食べに行ったり、夏には同僚と一緒にBBQをしたり…

越智さん

したね～。あと、私はベルギーに行きました。

岡田さん

人生で2度目のタイ旅行をしました。

社会人になって気をつけていること・大事にしていることはなんですか。

岡田さん

1点目は、ノーと言わないこと。なるべくお客様の要望にお応えできたら、と思っています。2点目は、いやがられる人にならない。

お客さんにテンションとか波長を合わせて、お客さんから信用してもらえるように、不快感を与えない人でいようと思っています。

越智さん

一つは、愛媛CATVと書かれたジャケットを着て取材するので、自分がどう見られているのかを常に意識します。

それと、愛媛CATVは「市民が主役、街中がスタジオ」というテーマで街中へ一般の人を取材することが多いので、「もう二度と映りたくないって思われる撮り方をしてはいけない」ということを入社して最初に教わりました。

愛大生へのメッセージをお願いします。

岡田さん

就職してから思うのは、大学での思い出が一生の思い出になるし、人と話すときの話題になるんです。だから、2人からのお願いとして「借金をしてでも遊べ」と言いたいです。

越智さん

母からずつと言われてきたのは、「時間とお金と若さが3つそろうことは一生のうちで一度もない」ということです。若さと時間のそろう大学時代に、なんとかお金も捻出して、旅行とか、好きなことをするように言われました。



(株)フジ 豊田 洋介さん(平成26年6月取材)

(1997年3月 理学部化学科 卒業)

〈現在〉(株)フジ 総合企画部次長

在学時のアルバイトがきっかけで決めた就職,自らの役割を意識しながら仕事に打ち込み,休日は家族と過ごす充実した日々です。

在学時に惚れこんだフジに就職して17年,家族に癒しを,仕事にやりがいと充実感を感じる,後悔のない日々です。

**現在の仕事を選んだ理由・きっかけは何ですか。**

豊田さん

高校を卒業してすぐ,愛媛大学の合格発表が出る前に,フジでアルバイトを始めて,在学中続けたことがきっかけですね。アルバイト先は小さい店舗で,従業員の数も少なく,和気藹々とした雰囲気でした。

バイトの面では,野菜や果物をつめたり,肉や魚を加工したり,商品の管理をしたり…と様々な経験をさせてもらう中で,スーパーは季節感のある仕事だと感じました。四季の変化に伴う商品の移り変わりや,クリスマスやお正月といった季節の歳時があり,自然の流れに近い仕事が非常に楽しく感じられたんですね。そうした4年間のアルバイトを通して,人とのつながりができたことが,就職活動の決め手になりました。

現在,どのような仕事を担当していますか。

豊田さん

総合企画部では,フジの経営方針や会社全体の予算,経営計画などの企画立案と,「フジカンパニーズ」と呼ばれるグループ20社全体の経営戦略や方針の決定・発信などを行っています。私はこれまで,店舗の建設や改装,メンテナンスなどを担う建設部や,出店立地の計画や地権者との交渉を行う開発部など裏方の仕事を主にしてきました。砥部店の店長をさせていただいたときは,毎日ご来店いただく多くのお客様に,気持ちよくお買い物をしていただくために,従業員の方とともに店舗を作り上げることも楽しさがありましたが,それを陰で支えている裏方の仕事も,非常にやりがいを感じます。特に今は,フジの中期経営計画策定やグループ戦略,提携等に携わっているので,責任も重大ですが,充実感も大きいですね。

休日はどのように過ごしていますか。

豊田さん

一生懸命仕事に打ち込めるのは,

家族の支えがあるからだと思いますので,休日にはできるだけ家族と過ごしています。

社会人になると,生活の大半の時間を仕事をして過ごすので,家族と居るときは仕事も忘れられて,とても癒されます。仕事が立て込んでいる時期はなかなか遠出ができませんが,家の前で子どもとキャッチボールをしたり,サッカーボールを蹴ったり,あるいは家族で買い物に行ったりして過ごしますね。長期休暇も年に2回,合わせて10日間取れるので,そういった連休には旅行にも行きます。自分がそうだったように,子どもが大きくなると,家族みんなで過ごす時間が少なくなるので,今のうちに出来るだけ一緒にいる時間を作るようにしています。

**在学時について教えてください。**

豊田さん

サークルはしていませんでした。友達と遊びに行ったり,サークルに行ったりする感覚で,アルバイトのシフトが入っていなくても,アルバイト先の店舗に入り浸って,仕事を終えられた従業員やパートの方々とおしゃべりを楽しんでいました。アルバイトとして入ることも多くて,大学の授業や友達と過ごす時間以外は,ほとんどシフトを入れていたように記憶しています。もちろん,授業にはしっかり出ていたよ。むしろ友達よりも授業にきちんと出席していてノートも取っていたので,よく友達にノートを貸していました。ただどういいうわけか,ノートを貸した友達は単位が取れるのに,自分は単位がなかなか取れなくて,卒業もぎりぎりでしたね(笑)。

社会人になって気をつけていること・大事にしていることはなんですか。

豊田さん

社会人になって17年くらいの今になって思うのは,周りの評価を気にすることなく,与えられている役割をしっかりこなすことですね。

新入社員,若手,中堅という年齢的な立ち位置と,担当者,係長,課長,店長,次長という役職での位置づけと,それに加えてそれぞれの部門・業務があって,そこで仕事を経験させていただいている中で,その時々自分に課せられている役目があります。それぞれのポジションでの役割を意識して,一つ一つの仕事はもちろん,普段の言動や,立ち居振る舞いからしっかりと必要があると思います。そういうことを意識しながら,その時々役割を精一杯演じてきたつもりなので,大学時代も社会人になってからも,後悔は一切ありませんね。

愛大生へのメッセージをお願いします。

豊田さん

たいした学生生活を送っていなかったのだから,えらそうなことは言えないんですけど,4年間をどう過ごすかによって,その後の将来が大きく違ってくると思います。

高校までの課程を終えて社会に出るまでの4年間をどう過ごすかは本人次第です。勉強はもちろん,アルバイトでもいいし,遊ぶことだっていいわけですよ。一生懸命,遊ぶなら遊ぶ,と。周りに振り回され,時間に流されるだけでは,せっかく貴重な4年間を過ごしても何も残らないということになってしまうからね。そういう意味で,20歳前後の4年間というのは,本当に貴重だと思います。だから,有意義に使ってほしいなと願っています。

セキ(株) 丹下 陽介さん(平成26年6月取材)

(2005年3月 理学部生物地球圏科学科 卒業)

〈現在〉セキ(株) 事業開発営業部 営業一課長

今の仕事を始めるきっかけは、人との出会いから。そんな「人」とのつながりを大切にしながら、お客様の悩みを一緒に解決していく仕事をしています。新しい仕事を手さぐり状態ではじめることは、苦労することもあります。が、理系としての強みを活かして、営業の最前線で働いています。



現在の仕事を選んだ理由・きっかけは何ですか。

丹下さん

卒論ではサケの生態調査を行うなど、大学時代は生物系の研究をする理系の学生でしたが、就職活動は興味が強かったマスコミ業界を中心にしていました。その中でセキの方とご縁があって入社しました。

最終的な後押しになったのは、セキの当時の人事担当者に惚れたことです。採用面接とは別に個人面談をする機会があったのですが、そこで担当の方に、自分の就活の現状とかすべてぶつけてみたんです。そのとき、その担当の方が真剣に私のことを考えてくれて、「この人は信用できる」という強烈な印象を持ちました。入社してからの方が会社について知ったことも多くて、会社というよりその人に惚れたっていうのが自分のなかで大きな決め手でした。

現在、どのような仕事を担当していますか。

丹下さん

営業最前線で働きながら、課長職をいただき部下も持つようになりました。

営業という仕事を通してわかった、学生時代に思っていたこととの一番大きな違いを一言でいうと、セキは印刷会社というより、お客様の「お悩み解決会社」なんです。もちろん印刷もするんですけど、お客様の要望に合わせ、講演会の準備やHPの作成、新規店舗の開業など、どこまでもお客様と一緒に何かを作り上げる会社なんです。もともと印刷中心の会社なので、新しいことを始めるときは手探り状態になります。会社の人から教えてくれるものでもないの、自分たちで調べて動いて、ダメなら軌道修正して…と繰り返し繰り返しやっていくのは苦勞しますが、楽しいですね。

休日はどのように過ごしていますか。

丹下さん

アウトドアが好きなので、休暇のたびに釣りに行ったり、ゴルフに行っ

り、買い物に行ったり…釣りもゴルフも会社の人とよく行きますよ。釣りは日の出とともに船を出して、日没とともに帰ってくるくらいがつつりやります。

セキは長期休暇が年に3回ぐらいあって、それを利用して旅行にも行きます。旅行については、死ぬまでに全都道府県をまわりたいなって思ってるんですよ。マイナーな県、マイナーな観光地にも行きたいなと思っていて、今は近畿を攻略中です。その中でも「道後」旅行は楽しかったですよ。県内在住で道後旅行！地元だけけど意外と知らないんだなっていう発見があって、とても面白かったです。ぜひおすすめしたい旅行先ですね。

在学時について教えてください。

丹下さん

演劇部に入って、当時は年に3回公演をしていました。俳優として舞台に立つこともありましたが、主には裏方で舞台監督を担当しました。舞台監督というのは、舞台装置とか衣装とか音響といった裏方のスタッフをまとめる役割です。俳優で印象に残っている役は、入部して最初の役と、卒業公演で務めた主役ですね。部長もしていたので、部活動としても全体を任されていたので、セキでの仕事はデザイナーだったり、印刷工場で機械を回す人がいたり、物を配送してくれる人がいたり、いろんな人が関わって一つのものが成り立っているの、演劇部で人をまとめた経験が、現在、仕事に関わっている人たちをまとめるということに活かされていますね。

思い出深い場所は、大昔の記念講堂！ダントツですね。現在、正門横にある南加記念ホールに建て替えられる前の、古い建物です。

そこで演劇部の公演をしていたので、ごく印象に残っていて、今でも建物内の配置とか鮮明に思い起こすことができるんですよ。公演では、ステージに壁を作ったり、カーテンを吊るしたり、照明を吊るしたりしていたので、柱がどこにどんな風に立っていて、次の柱との距離がどれくらいあって、どのくらいの広さがあったって…コンセントの位置まで全部覚えているくらい克明に印象に残っています。建て替え

のために取り壊されるときは本当に残念でしたが、きれいな建物ができたので、まあいいかなって思ってるんですよ(笑)。

社会人になって気をつけていること・大事にしていることはなんですか。

丹下さん

多分皆さん同じようなことを言うと思うんですけど、大事にしているのは「人」ですね私の所属する営業に関して言えば、お客さんに名前覚えてもらったり、気に入ってもらったりして、それで何か困ったときに、一番に名前が出てきてもらうことが仕事につながるの、特に人付き合いは重要ですね。この年(30代前半)になると、県内で仕事をしている中学・高校・大学時代の友人たちが、重要なポジションで仕事をし始めているんです。最近では、そういう友人たちと仕事をする機会も少しずつ増えてきました。

会社の内外での人付き合い、まさしく今作っていく人間関係はもちろん、今まで作ってきた人間関係を絶やさないことも大事だと思っています。

愛大生へのメッセージをお願いします。

丹下さん

実はすごいあがり症で、高校までは人前で話すと顔が真っ赤になって、営業なんか絶対やりたくないって思っていました。

今営業ができているのは、演劇部で人前で話す土台ができて、入社して営業をする中で、さらに話せるようになりました。そういう実体験があるので、人前で話すのが苦手な学生の中にも、営業に向いている人っていると思います。人前では無理でも友達の前で話せるなら、話す素質は持っているはずなので、経験やコツさえあれば、営業に向いている人って多いですよ。あと、理系の営業もすごく強みがあると思います。営業成績にも、お客さんとのやり取りでも数字がついて回るので、数字に強く、物事をロジカルに考える力は役に立ちますね。

愛媛県庁 山下 一行さん(平成26年8月取材)

(1979年 法文学部法学科(現:総合政策学科)卒業)

〈現在〉愛媛県庁 企画振興部地域振興局地域政策課 課長

「初心忘るべからず」の言葉通り、愛媛県庁に入った時の気持ちを今も持ち続け、常にやる気をもって仕事に取り組んでいます。



現在の仕事を選んだ理由・きっかけは何ですか。

山下さん

大学に入学したころから、地元志向と公務員志向がありました。憲法のゼミに入って、憲法や法律を中心に勉強をしていました。当時は司法試験の受験を考えたこともありますが、あまりにも難関だったので、結局は受けませんでしたね。教員になることも考えていたので、中学・高校の社会科の教員免許も取得しました。教職の授業を履修していたので、遊ぶ暇もなかったですね。しかし、今と同様、当時の教員の採用数も少なく、特に社会科は門戸が広い分、採用が厳しかったので、試験勉強はある程度で見切りをつけました。最終的に公務員を目指し、地元の愛媛県を受けましたが、当時は今と違って公務員講座がなかったので、独学で勉強をしましたよ。

現在、どのような仕事を担当していますか。

山下さん

企画振興部地域政策課という、地域活性化を目指した取り組みを推進し、まちおこしなどの活動を行う団体を、支援する部署の課長をしています。今、最も力を入れているのは集落対策で、過疎地域、半島地域、離島地域の地域振興も担当しています。移住の推進が主な仕事ですね。今は移住ブームで、災害の少ない瀬戸内地域はかなり人気です。離島は海も山もあって、農業と漁業が可能なことから人気があります。中でも、「地域おこし協力隊」というものに力を入れていて、都会の若者に3年という任期で地域に住んでもらって、様々な地域おこし活動をやってもらおうという取り組みを行っています。

休日はどのように過ごしていますか。

山下さん

休日はソフトテニスをしています。始めたのは中学生のときでしたが、

高校生のとき大学受験のために一度やめていました。大学では、他のサークルに入っていたので、社会人になるまではやってませんでしたね。社会人になって、民間のクラブに所属して、再開しました。いつも練習で使っているのは、石手川沿いのテニスコートです。坊っちゃん球場の近くにあるのですが、夏場は暑いので朝早く始めて午前10時から11時くらいに終わるようにしています。毎週土曜日に練習をしていて、日曜日には試合に出ることもあります。今は、息子も娘も学校の部活でソフトテニスを始めたので、夏には娘にソフトテニスを教えたいんですよ。

在学時の所属サークル・部活を教えてください。

山下さん

当時、愛媛大学法律学研究会、自分たちは“愛法会”と呼んでいましたけど、法律の勉強をするサークルがあったので、そこに所属していました。だいたい30人くらい居て、中には司法試験を真剣に目指している先輩もいましたね。普段から、法律に関する勉強会や発表をしていて、年に一回夏休みにはお寺などで合宿もしました。それから、先輩に誘われて学生祭実行委員会にも入っていたので、そこでも忙しく活動していました。当時も学生祭存亡の危機があって、誘われたのがきっかけでしたが、そのとき一生懸命やったことは、後から考えると社会人になったときに役に立っているように思いますよ。一生懸命やること自体に価値があるんだと思います。

在学時に思い出深い場所がありますか。

山下さん

古い学生食堂です。正門から入って右に曲がり、ずっと行った先の右手、今の生協があるあたりに古い学食がありました。今から20年くらい前に建て替えられて、現在の建物になっているんですが、それ以前の建物ですね。そこでご飯を食べて、友人と集まって話をしていました。当時

は、300~400円で食べることができたので、貧乏だった学生当時はすごく助かりました。その値段と比べると自炊をしても、かえって高いし、手間もかかりますから、いつも学食でご飯を食べていましたね。いろんなメニューを食べたと思いますが、どんなものを食べていたのか、お気に入りのメニューは何だったのかは忘れてしまいました…。

愛大生へのメッセージをお願いします。

山下さん

4年間という時間を無駄にしないで、有効に使って欲しいですね。遊びにも勉強にも一生懸命になって欲しいです。あとは、本を読んだり、友達と議論をしたりして欲しいですね。今は、情報機器が発達していて、SNSやメールなどでコミュニケーションをとることもできますが、そういった付き合いではなく、顔を突き合わせて議論をして欲しいと思います。そうした議論の中で、自分の考えを相手にいかに伝えるか、相手の意見をいかに聞くかという、話す力・聞く力を鍛えて欲しいですね。そして、ボランティアやアルバイトなど、色々な社会活動もしてください。そういった様々な経験が、味のある人間を作っていきますから。



愛媛大学医学部附属病院 河内 陽介さん(平成26年8月取材)

(2012年3月 医学部看護学科 卒業)

〈現在〉愛媛大学医学部附属病院 集中治療部

患者さんの笑顔が、この仕事のなによりのやりがいです。少しでも笑顔が見られるように日々勉強、努力を重ねています。



現在の仕事を選んだ理由・きっかけは何ですか。

河内さん

医療の道に進もうと思ったのは中学2年の時です。母や伯母が看護師をしていたのですが、それまでは医療のことに興味はありませんでした。祖父が体調を崩して入院したんです。それでお見舞いに病院へ行くようになって、看護師さんの仕事を間近で見るうちに自分にも何かできることはないか考えるようになりました。当時は中学生だったので、当然できることも限られていて、あの時感じた無力感が今の看護師を目指すきっかけになったと思います。

現在、どのような仕事を担当していますか。

河内さん

愛大附属病院に勤め始めてからは、ICU「集中治療室」で働いています。ICUは術後の患者さんが多く、ありとあらゆる疾患を持った人が入ってきます。年齢層も赤ちゃんからお年寄りまで幅広いです。呼吸や血圧の管理の他にも、自分で動くことができない患者さんの日常のケアなど、広い範囲で携わっています。ICUを出ても退院ではなくて、別の病棟で治療が続く形になるんです。なので、患者さんが早くICUから出られて、退院に向かえるようにサポートをする看護をしています。

休日はどのように過ごしていますか。

河内さん

夏休みとか長期の休みが取れたら、旅行で温泉などに行きます。普段は何も予定がなかったら家にいることが多いですね。あと年に2回ほどですが、休みを取って、県外の病院で行われる勉強会に参加することもあります。たくさん症例や重症の患者さんの看護に携わるので、日々勉強が欠かせません。患者さんに何かあつてからでは遅いですからね。勉強会は県内でもあるんですけど、自分の興

味のある分野だと大阪とか神戸になるので2日くらいお休みを取って勉強しに行きます。

在学時の所属サークル・部活を教えてください。

河内さん

陸上部に入っていました。短距離をしていたんですけど、途中からマネージャーをしていました。陸上は小学校の時に始めました。学部の人に続けるのを悩んだ時期があつて、それでも部活は辞めたくなかったの、マネージャーになりました。男でマネージャーする人ってあまりいないんですけど、全然苦じゃなくて、むしろ楽しかったです。

部活では走ることはあまりなかったんですけど、4回生の時に愛媛マラソンに参加しました。国家試験の2週間前だったんですけど、仕事をやり出したらできないと思い出場を決めました。ハードスケジュールでしたが、無事完走も出来て、出て本当によかったです。



在学時に思い出深い場所はありますか。

河内さん

大学へは授業を受けに行くだけで感じが強かったのでなんとも言えないですね(笑)。ただ、看護学科は実習でいろんな病院に行くんですけど、その先々での思い出があります。高齢者看護の実習で、その時担当していた患者さんに手紙をもらったこ

とがあつたんです。その患者さんは手に力が入りにくくて、字が書きづらかったと思うんですけど、一生懸命書いてくれた手紙を実習の最後の日にもらいました。その手紙は今も取っています。どの実習も思い出に残っているんですけど、それが1番嬉しかったです。

愛大生へのメッセージをお願いします。

河内さん

勉強以外のところでいろんな人と出会って影響を受けて、自分の将来に繋がたらいいんじゃないかなって思いますね。医学部ってすごく狭い関わりになるんですよ。看護師になる勉強をみんなでするので、基本的に同じような人としか会わなくなるんですね。だから部活をしていてよかったし、バイトをしていてよかったなって思いますね。人と関わって、その出会いによって自分がどうなりたいかに影響すると思うので積極的に関わりを増やして欲しいです。もちろん勉強も大事ですけど、いろんな出会いを作ってください。



伊予銀行 河野 加奈子さん(平成26年8月取材)

(2010年3月 法文学部人文学科 卒業)

〈現在〉伊予銀行 余戸支店

愛媛県で生まれ育ち、愛媛大学出身ということがお客様との距離を近づけ、信頼関係づくりに活かされています。入行してから乗ったバイクも今は乗りこなし、雨の日も負けずお客様のもとへ足を運んでいます。



現在の仕事を選んだ理由・きっかけは何ですか。

河野さん

愛媛県で生まれ育って、高校も大学も愛媛だったので、就職も地元の企業でいたいという気持ちが1番にありました。

どの企業を受けるか考えている時に、伊予銀行に入行したサークルの先輩からお話を聞く機会があったんですね。実際にされている仕事の内容を聞いて大変な仕事だと最初は思いました。

しかし、仕事を通じて実生活に役立つ知識が多く学べることも教えてくれたんです。

実生活に役立つ知識とは、税金や将来の年金についてです。仕事に就いてみて、先輩の言ったとおり、自分の将来に役立つ知識を日々の業務から自然と学んでいます。

あとは地域貢献、知名度、福利厚生など、総合的に考えて、とてもやりがいのある仕事だと思ったので選びました。

現在、どのような仕事を担当していますか。

河野さん

営業を担当しています。銀行の仕事は大きく分けて、預金、融資、運用という大きなツールがあって、その中からお客様のライフスタイルに合わせた金融商品を提供しています。

銀行で提案できる商品の幅が広がってきているので多様な商品の知識が必要です。学生時代は預金くらいしか知識がなく、定期預金については全く知りませんでした。入行してからいろんな種類があることを勉強しましたね。

営業に出るようになってからお客様が商品について詳しいということがよくあったので、信頼してもらうためにも商品について勉強が大切です。休日に講師の方が来られるセミナーもあり、そこで学んだことをお客様に還元できるように努力しています。

休日はどのように過ごしていますか。

河野さん

家で一日ゆっくり過ごすこともあれ

ば、友達と食事やショッピングに行ったりします。一週間の連続休暇を年に1回取れるんですけど、他の支店の同期とお休みをあわせて取るようにして、旅行に行ったりします。この間はパラオに行きました。

パラオに行った当日、30年に一度の台風が来てしまい、エメラルドの海を想像して行ったのですが、少し濁ってました(笑)。時々晴れ間も見えたり、食事も美味しく、すごくよかったですけど、やっぱりリベンジしなければと思いました(笑)。

銀行はお盆休みがない代わりに1週間の連続休暇と4日間のリフレッシュ休暇を1回ずつ取れるので、それを利用してまた行きたいです。

在学時の所属サークル・部活を教えてください。

河野さん

ジャスという名前のレクリエーションサークルに所属していました。全員で30人くらいで、メンバーは人文学科の学生だけで構成されてました。先輩たちの代が人数が多くてだんだん減っていききましたね。今はもうないと思います。

同じ高校だった先輩から入学してすぐの歓迎会に誘っていただいて、人文学科の友人と一緒に入りました。活動は週に1~2回青少年センターに行き、バレーボールやドッジボールをしていました。私は身長も低くて経験もなかったのですが、楽しむのがメインだったので活動は楽しかったですね。

夏休みには合宿という名のキャンプにも行ったりしていい思い出です。

社会人になって気をつけていること・大事にしていることはありますか。

河野さん

お客様と接する仕事なので普段から言葉遣いに気を使っています。あと普段から小さなことでも役に立つと思ったらメモに残すようにしています。

大学時代は目上の方と接する機会が少なく、あまり言葉遣いに気を遣うことはなかったのですが、営業という仕事に就いて特に気をつけるようにしています。メモをする習慣は入行して1~

2年目の頃に先輩から教わって身につきました。教わったことはその日のうちにまとめて、同じ質問をしないように心がけていたんです。

最近は業務内容よりも、お客様の情報をまとめるようにしています。お客様の趣味であったり、お子さんが何人など小さな情報でも覚えておくと、次にお伺いした時に話が広がることもあるので、そういうことが日々大切かなと思います。

愛大生へのメッセージをお願いします。

河野さん

地元企業に就職した場合の話ですが、自分が愛大出身ということを活かして行って欲しいなと思います。

営業で接するお客様の中にはご自身やお孫さんなどのご家族が愛大出身の方がたくさんいらっしゃいます。そういったお客様に、私も愛大出身ということを活かすことで話題が膨らんだりしたことが多かったんですね。愛大出身ということはコミュニケーションのきっかけとしても活用できると思います。これからの就職活動で地元企業を考えている人は、就活だけでなく、自分が愛大出身ということはいろんな面で強みになると思うのでどんどん前に出歩いて行って欲しいです。

■ インタビュアー



福井 亮陽

法文学部 総合政策学科4回生
メディアサポーター出版部所属



星野 晴香

法文学部研究科 人文科学専攻2回生
メディアサポーター出版部所属

卒業式の様子 2015年3月24日(火)、「ひめぎんホール」にて愛媛大学卒業式・大学院学位記授与式が開催されました。

平成26年度愛媛大学卒業式及び大学院学位記授与式が3月24日(火)午前10時から「ひめぎんホール」(愛媛県県民文化会館)において挙行され、1,818人の学部卒業生及び428人の大学院修了生に学位記が授与されました。

卒業式では柳澤学長から各学部の代表者に学位記が手渡され式辞があった後、森本惇校友会会長が「卒業生の皆様の未来が幸多きものとなることを祈念申し上げます」と卒業生に祝辞を述べました。

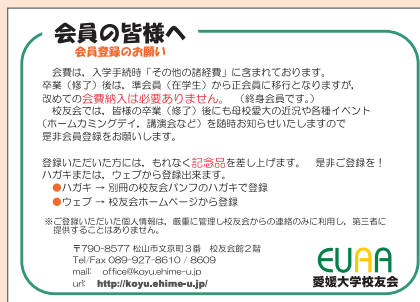
また、校友会では卒業生に、卒業記念品として『今治のタオルマフラー』をメッセージカードを添えて贈呈しました。卒業生の皆様の今後ますますのご活躍とご発展をお祈りいたします。

メッセージカード

表面



裏面



会長祝辞 -2015.3.24-

卒業生の皆様ご卒業おめでとうございます。

皆様方は愛媛大学で4年間真摯に学問に取り組まれ、また、社会人としての心構えを学ばれるなど、充実した日々を過ごされ、本日の佳き日を迎えられるものと、改めてお祝い申し上げます。

また、ご列席のご家族の皆様方におかれましても、長い間のご苦勞が報われ、本日をお迎えになられたことに対し、心からお喜び申し上げます。

さて、皆様は、既に入學時に愛媛大学校友会に入会しておられますが、卒業後も我々とともに、母校の発展を温かく見守り、支援していただきたいと思ひます。

ご承知の通り、愛媛大学校友会は、大学、在学生および卒業生をいろいろな形で支援し、地域社会に貢献していくことを目的として平成16年3月に



創立されました。現在、首都圏、近畿圏の国内2支部、中国、ベトナム、ネパール、マレーシア、インドネシア、バングラデシュの海外6支部を有し、会員約117,300名の大きな組織となっています。

また校友会には、もう一つの会員相互の親交を図るといった目的があります。平成22年、城北構内に建設いたしました「校友会館」を拠点に活動しています。

その一つとして、毎年、学生祭に併せて開催しています「愛媛大学ホームカミングデイ」があります。これは卒業生が一同に集い、旧交を温めるとともに、講演会、懇親会等を通じて、在学生、教職員等と語り、母校の現状を

理解して戴く絶好の機会となっておりますので、皆様も是非、母校に帰ってきて下さるようお願いいたします。

今、日本は、財政不安、東日本震災からの復旧・復興、少子高齢化と社会保障の問題等、多くの深刻な問題を抱えています。愛媛大学で学ばれた知識と経験を基に、これらの諸問題に果敢に挑戦していただくことを期待してやみません。

最後になりますが、卒業生の皆様の未来が幸多きものとなることを祈念申し上げ、私のお祝いの言葉とさせていただきます。

本日は誠にありがとうございました。

愛媛大学校友会会長 森本 惇

東京会場

平成27年5月23日(土)17:00～

場所:日比谷Bar DINING 田町店

「全員集合in東京」は、愛媛大学を卒業し首都圏で働き始めた新社会人を同圏の愛大OB・OGが歓迎し、新生活を応援するとともに校友会会員間のネットワークの拡大を目的に開催しています。

本年度は、5月23日(土)の17時から「日比谷Bar Dining 田町店」で開催し、新社会人2人を含む16人が参加しました。

同会では、岡本実行委員長からの歓迎の挨拶後、新社会人を代表して宇都宮さんの乾杯により始まり、その後、参加者の自己紹介や先輩との名刺交換など終止和やかな雰囲気の中で終了しました。

2015 集合写真



これまでの開催の様子



大阪会場

平成27年5月16日(土)17:30～

場所:大阪マルビル 大阪第一ホテルレストランカラット

「全員集合in大阪」は、今春、愛媛大学を卒業し近畿圏で働く新社会人を歓迎し、近畿圏での新生活を応援するとともに愛媛大学卒業生同士の連携と交流を深めることを目的として、5月16日(土)17時30分から大阪梅田の「大阪マルビル 大阪第一ホテルレストランカラット」で開催しました。

大阪では校友会の本部事業として昨年度から実施していますが、今回は新社会人の参加者はなく、若手の卒業生と校友会近畿支部役員ら14人の参加となりました。

歓迎会では、若手の卒業生一人一人が自己紹介するなど学部や年齢差を超えて終始和やかな雰囲気の中で行われ大いに盛り上がりました。なお、参加者から新社会人が対象なので、時期を遅らせて開催してはどうかという意見があり、今後検討することとしました。

2015 集合写真



去年の開催の様子



大阪では2014年に初めて大阪マルビル「レストランカラット」で開催しました。第1回の開催とあって首都圏に在住する若手卒業生で組織する4人が実行委員として、このプロジェクトを企画・実施しました。当日は近畿で就職した卒業生5人(うち新社会人2人)が参加しました。歓迎会では、実行委員を代表して、岡本竜太郎氏から歓迎挨拶の後、参加者一人一人自己紹介をしたのち、和やかな雰囲気の中で交流が行われました。

来年も東京、大阪で「全員集合2016」を開催する予定です。日時、場所等が決まり次第校友会ホームページなどでお知らせいたします。当日はカジュアルな服装で構いません。お一人で参加される方も多く、この機会に、是非、卒業生同士の交流を深めてください。

平成27年1月25日(日)17時～ 場所:愛媛大学南加記念ホール
愛媛大学校友会主催,愛媛大学教育学部同窓会後援

NHK交響楽団の酒井敏彦氏をお招きし,ヴァイオリンリサイタルを開催しました。酒井氏は,愛媛県松山市出身で松山北高等学校,愛媛大学教育学部を卒業され,読売日本交響楽団を経て,現在,NHK交響楽団の第1ヴァイオリン・フォアシュピラー(次席奏者)としてご活躍されています。また,ピアノ伴奏者には第一級のアンサンブルピアニスト,チェンバリストとしてご活躍されている梅村祐子氏をお招きしました。

リサイタルでは,ドヴォルザーク「ソナチネ ト長調 作品100」やシベリウス「5つの小品 作品81」など5曲が披露され,演奏終了後も拍手が鳴り止まず何度もアンコールに応じていただくなど,超満員の来場者は美しい旋律にうっとりときき入っていました。

〈プログラム〉	■ドヴォルザーク	ソナチネ ト長調 作品100
	■ドヴォルザーク	ロマンス ヘ短調 作品11
	■ドヴォルザーク(クライスラー編曲)	スラヴ舞曲 第2番
	■シベリウス	5つの小品 作品81
	■ヴュータン	バラードとポロネーズ 作品38



酒井 敏彦氏



リサイタル終了後,同級生や恩師などとの記念撮影

■ 「特定非営利活動法人愛媛大学校友会人材活用センター」の活動 ■

校友会会員(主に退職教員)で構成された「特定非営利活動法人愛媛大学校友会人材活用センター」は,県内の各自治体や教育機関に人材を提供するとともに,広く一般市民向けに学術,文化,芸術,保健等に関する公開講座,講演会等を開催するなど,社会教育の推進と地域の活性化に貢献しています。平成26年度では「高齢社会を考える」をテーマに3回シリーズで開催しました。



愛媛大学名誉教授(医学部)恩地先生



愛媛大学名誉教授(法文学部)小淵先生



愛媛大学教授(教育学部)浅井先生

また,平成26年12月19日(金)の13時から,宇和島市内の「きさいや広場/市民ギャラリー」で公開講演会を開催しました。

宇和島市での開催は今回初めてでしたが,この時期,全国的に寒波が到来し,三間町あたりでは雪景色の寒い一日であったためか参加者は約30人の開催となりました。

講師には,愛媛大学名誉教授の小沼大八先生による「仏教の日本化と空海の事跡」と本学名誉教授の山川廣司先生による「巡礼の東西」～四国遍路とサンティアゴ巡礼～についてご講演いただきました。

「仏教の日本化と空海の事跡」においては,仏教の日本化に当たって空海が果たした役割について詳細に説明していただきました。また,「巡礼の東西」から四国遍路とサンティアゴ巡礼～においては,東西で行われた四国遍路とサンティアゴ巡礼を比較しながら解りやすくご紹介いただきました。



愛媛大学名誉教授 小沼先生



愛媛大学名誉教授 山川先生

第5回ホームカミングデイを開催しました。

愛媛大学と共催して平成26年11月8日(土)に、第5回愛媛大学ホームカミングデイを開催し、卒業生、本学学生及び教職員合わせて約280人が参加しました。

【プログラム】

- 13:00～ 同時開催イベント
ミュージアム見学
植物工場見学
愛媛大学事務職員との交流イベント
- 15:00～ 式典(南加記念ホール)
司会:合田 みゆき氏(フリーアナウンサー 教育学部卒)
学歌斉唱・・・愛媛大学合唱団
学長挨拶・・・柳澤康信学長
特別講演『鉄と塩と文化の海廊・瀬戸内海今昔物語』
村上恭通教授(愛媛大学東アジア古代鉄文化研究センター長)
卒業生挨拶・・・Yogesh Hari Shrestha氏
(校友会海外支部ネパール支部長, 連合農学研究科修了)
学生サークル紹介・・・ダンス部
- 17:00～ 懇親会(大学会館1階)



ホームカミングデイは、卒業生の皆様に青春時代を過ごした愛媛松山に、授業や研究、サークル活動に励んだ懐かしいキャンパスに帰ってもらい、恩師との交流、後輩との交流、教職員、在校生との楽しい時間を過ごしていただくため、平成22年度から愛媛大学と校友会が共催で開催しており、今回が5回目の開催となりました。当日は曇り空ではありましたが、卒業生や教職員OBの皆様が母校に足を運んでいただき、キャンパス内の学生祭と相まって活気あふれる一日となりました。

また、同時に開催されたイベントでは、「ミュージアム見学」、「植物工場見学」、在学生のための「愛媛大学事務職員との交流イベント」が実施され、多くの方々に参加いただきました。

南加記念ホールで行われた式典では、立見が出るほどの盛況ぶりで愛媛大学合唱団の学歌斉唱に続き、柳澤康信学長より挨拶と愛媛大学の近況についての講話がありました。



引き続き大学会館で行われた懇親会では、柳澤学長の挨拶の後、森本校友会会長の乾杯により開演しました。

昨年に引き続き、今年も愛媛大学と連携協定を結んでいる愛南町から特産品の屋台を出店していただきました。また、養殖ブリの解体ショーが実演され新鮮な刺身が振る舞われたほか、揚げたてのじゃこ天もあり参加者は舌鼓を打ちました。さらに特産の「ブリ」や「鯛」の抽選会も行われ、会場は大いに盛り上がりました。

また、懇親会には本学農学部OBで歌手のえひめ憲一氏をお迎えし、「瀬戸の恋歌」や「おいでんか松山」が熱唱されると、会場から盛大な拍手が沸き起こっていました。

第6回ホームカミングデイ | 平成27年11月14日(土)13時～ | 場所:愛媛大学城北キャンパス

【プログラム】

- 15:00～ 式典(会場:南加記念ホール)
司会:合田 みゆき氏(フリーアナウンサー 教育学部卒)
学歌斉唱
- 15:05～ 学長挨拶 大橋裕一 愛媛大学長
- 15:20～ 特別講演「四国遍路を楽しむ～チャレンジ1400km～」
寺内浩教授
(愛媛大学法文学部附属四国遍路・世界の巡礼研究センター長)
- 16:10～ 卒業生挨拶
越智 陽一氏(工学部卒)
(株式会社ジョイ・アート代表取締役社長)
- 16:30～ サークル紹介
チアリーディング部, 合唱部
- 17:00～ 懇親会 大学会館1F(参加費無料)

開催の様子は次号で報告いたします。

校友会では、毎年、子規俳句カレンダーを製作しています。卓上タイプで、両面使用可能です。(片面は写真メイン、もう片面はスケジュールを記入することが出来ます。)

学長が選句した正岡子規の俳句と、大学職員が撮影した四季折々の愛媛県内の写真、そして英訳で構成されております。このカレンダーが国内外の皆様と愛媛大学、愛媛県や子規との出会いの機会になればと思います。

2016年版

1月 天守閣屹然としてけさの春  松山城	2月 天の息かすかに届く寒の梅  砥部町 七折の梅	3月 汽車に乗りて汐干の濱を通りけり  双海町 伊予灘ものがたり	4月 木蓮や読書の窓の外側に  東温市 旧愛媛県緑化センター
5月 山越えて城下見おろす若葉哉  愛媛大学グリーンプロムナード	6月 梅雨晴の風に戻りし柳哉  道後 足湯	7月 汽車道にそふて咲けりけしの花  三間町 中山池自然公園 ポピー	8月 雲の峯水無き川を渡りけり  四国カルスト 五段高原
9月 秋の雲太平洋を走りけり  佐田岬 風車群	10月 順禮に追ひこされけり秋の旅  松山市 太山寺	11月 古寺に灯のともりたる紅葉哉  大洲市 如法寺	12月 寒月や人去るあとの能舞台  道後のホテルの能舞台



平成27年5月1日～6月30日まで、縁あって市内銀行の支店で子規俳句カレンダーの写真と俳句を展示しました。



平成27年8月、校友会館1階に「校友会コーナー」をオープンしました。このコーナーでは校友会からのお知らせやイベント情報などを展示・掲載していますので、是非、覗いてみてください。

【会員限定】子規俳句カレンダープレゼント

愛媛大学校友会「2016年版子規俳句カレンダー」を校友会会員様に限りプレゼントいたします。

詳細・応募につきましては12月中旬に校友会ホームページにてご案内いたします。

先着200人(予定)としておりますので、お早めにご応募ください。



首都圏支部だより

平成27年3月7日(土)
就活ツアー(東京コース)参加学生との情報交換会を開催しました。



▶詳細につきましては8ページをご覧ください。

平成27年5月23日(土)
新社会人歓迎会「全員集合」東京会場を開催しました。



▶詳細につきましては17ページをご覧ください。

平成27年6月6日(土)
首都圏支部講演会を開催しました。



愛媛大学校友会首都圏支部では平成27年6月6日(土)15時からサテライトオフィス東京・キャンパス・イノベーションセンター1階「国際会議室」において平成27年度講演会を開催し、首都圏に在住する会員など44人が出席しました。

今回の講演会は2部構成で実施し、第1部では本学の仁科弘重理事・副学長より「愛媛大学の近況について」と題して講話があり、平成28年4月から愛媛大学に新しい学部(社会共創学部)が設立されること、また、それに伴い法文学部、教育学部及び農学部では学部改組が行われ、愛媛大学の教育が大きく変わるとの説明がありました。

第2部では本学プロテオサイエンスセンター長の坪井敬文教授を講師にお招きし、「タンパク質はマラリアを無くす切り札」と題してマラリアの分布、マラリアの感染や症状、流行地におけるマラリア対策の歴史、本学におけるマラリアワクチンの開発などユーモアを交えた講演に参加者は熱心に聞き入っていました。

首都圏支部役員会報告

●平成27年4月18日(土)「東京サテライトオフィス」で開催し、下記の事案が承認されました。

- 議題 1.平成26年度事業報告及び決算報告について
2.平成27年度上期事業について
3.役員を選出について
4.平成27年度講演会及び懇親会の開催・役割分担について

●平成27年10月24日(土)「東京サテライトオフィス」で開催され、下記の事案が承認されました。

- 議題 1.平成27年度下期事業について
2.平成27年度就職支援事業就活ツアー参加学生との情報交換会の開催について
3.第5回首都圏支部定時総会の開催について

●平成28年1月上旬に開催し、下記の事案を審議する予定です。

- 議題 1.平成27年度就活ツアー参加学生との情報交換会の役割分担について
2.平成28年首都圏支部講演会の開催について
3.新社会人歓迎会「全員集合in東京」の開催について

役員名簿

(平成27年度末まで)

役職	氏名	出身学部
支部長	馬場 博史	農学部
副支部長	阿部 仁	法文学部
副支部長	兼頭 吉市	教育学部
副支部長	伊藤 智志	理学部
副支部長	新開 省二	医学部
副支部長	岡部 永年	退職教員の会 (工学部)
副支部長	鳥海 基忠	工学部
幹事	有次 隆	工学部
幹事	大村 万夢里	法文学部
幹事	石川 貴之	理学部
幹事	佐伯 雅弘	理学部
幹事	清水 栄治	法文学部
幹事	酒向 正春	医学部
幹事	田邊 直樹	農学部
監事	菊池 満孝	工学部
監事	森 孝枝	教育学部

近畿支部だより

平成27年3月4日(水)
就活ツアー(大阪コース)参加学生との情報交換会を開催しました。



▶ 詳細につきましては8ページをご覧ください。

平成27年5月16日(土)
新社会人歓迎会「全員集合」大阪会場を開催しました。



▶ 詳細につきましては17ページをご覧ください。

平成27年7月4日(土)
近畿支部講演会を開催しました。



愛媛大学校友会近畿支部では、平成27年7月4日(土)15時から大阪の「梅田スカイビル タワーウエスト22階D会議室」において講演会を開催し、近畿に在住する会員など46人が出席しました。

第1部では本学の仁科弘重理事・副学長から「愛媛大学の近況について」と題して講話があり、本学の沿革、組織、予算、第2期中期目標・中期計画について説明がありました。さらに、平成28年4月から愛媛大学に新しい学部(社会共創学部)が設立されること、また、それに伴い法文学部、教育学部及び農学部では学部改組が行われ、愛媛大学の教育が大きく変わるとの説明がありました。

引き続き、第2部では本学宇宙進化研究センター長の谷口義明教授の「宇宙の謎」と題した講演では、「私たちの住んでいる宇宙の年齢は138億年であり、いくつもの宇宙は膨張し続けている。これから50億年後には、太陽は死滅し地球も無くなるだろう。」というような宇宙の歴史と今後の宇宙の行方についての講演がありました。講演後の質疑応答では活発な質問があるなど興味深い講演となりました。

近畿支部役員会報告

●平成27年5月16日(土)「大阪マルビル」で開催し、下記事案が承認されました。

- 議題 1. 平成26年度事業報告及び決算報告について
2. 役員を選出について
3. 平成27年度講演会・懇親会の実施及び役割分担について

●平成27年12月5日(土)「大阪倶楽部会議室」で開催し、下記の事案を審議する予定です。

- 議題 1. 平成27年度就活ツアー参加学生との情報交換会の開催及び当日の役割分担について
2. 第3回近畿支部定時総会について
3. 平成28年度近畿支部講演会について
4. 新社会人歓迎会「全員集合in大阪」の開催について

役員名簿

(平成27年度末まで)

役職	氏名	出身学部
支部長	後藤 幹郎	文理(法文)
副支部長	岡本 正明	文理(法文)
副支部長	森川 紘一	教育学部
副支部長	堀内 眞理	文理(理)
副支部長	渡辺 武晴	工学部
副支部長	寺田 省三	農学部
会計担当幹事・事務局長	澤井 達夫	法文学部
幹事	楠 和俊	農学部
幹事	吉富 太郎	法文学部
幹事	西原 功	文理(理)
幹事	夜船 勝彦	文理(理)
幹事	樋口 裕	教育学部
幹事	瀧田 一男	教育学部
幹事	河野 直樹	教育学部
幹事	金子 光夫	農学部
幹事	音瀬 保彦	工学部
幹事	峯山 佳之	工学部
幹事	中村 薫	農学部
監事	迫 智明	教育学部
監事	浦部 昌之	農学部

愛媛大学校友会近畿支部は校友会本部事務局が担当しております。入会手続きや、活動等についてのお問合せは校友会事務局まで。

校友会では、本学を卒業した帰国留学生や海外に在住する日本人卒業生等との交流と親睦を図るとともに、国際化及び国際貢献を推進する本学の発展に寄与することを目的として、6カ国に海外支部を設置し様々な支援を行っています。

■海外支部設立報告

2014年12月20日 バングラデシュ支部設立総会を開催しました。
会場:Four Seasons Restaurant

バングラデシュ人民共和国は、南アジアにあるイスラム教徒主体の国で、インドの東、ミャンマーの西に位置し、国土のほとんどはインドとの国境に接しています。また、同国は、日本の約4割の国土面積に、世界で7番目に多い約1億5千万人を超える人口を抱え、都市国家を除けば世界で最も人口密度が高い国であり、近年は、その労働力の豊富さや労働コストの低廉さにより、ヨーロッパをはじめ日本の製造業関係企業の進出が著しい状況となっています。

同国からの愛媛大学への留学生総数は123人(2014.4)を数え、既に多くの帰国留学生が同国の経済界や教育界等の分野で活躍されており、現在も15人の留学生が本学で学んでいます。

こうした状況の中、以前からの同国帰国留学生有志の支部設立に対する強い想いを受けて、2014年12月20日(土)に首都ダッカにおいて、支部会員14人及び野倉校友会常任理事をはじめ校友会関係者出席のもと、支部設立総会及び昼食会が盛大に開催されました。支部設立総会においては、早速、会長や役員を選任、今後の運営、活動方針等について活発な意見交換が行われました。今後は、会員相互の親睦や交流を図ることは勿論のこと、支部細則の検討、支部会員データベースの整備等を行うことになりました。



■海外支部活動報告

2014年11月23日 ベトナム支部会を開催しました。

愛媛大学のベトナム人留学生らで作る校友会ベトナム支部会は、規定に基づいて、毎年11月20日以降の11月下旬に行われます。なぜなら、11月20日はベトナムの教師の日であり、ベトナム人はその頃になると教師に対する感謝の気持ちを表すために自分達の母校や教師の下に訪れ、支部会を開催する習慣があるからである。私達は愛媛大学に戻ることにはできないが、その代わりに支部会を開くことで卒業生同士で愛媛大学での思い出を語り合い、指導教授の方々に想いを伝える機会を作りました。

昨年の支部会は11月30日に行いましたが、今年の支部会は11月23日に開催しました。現在ベトナム支部には28人の会員がおり(連絡先把握会員)、今回の支部会には15人が参加しました。一同は支部会で久しぶりに再会し、話に花を咲かせていました。料理も豪華で美味しく、皆は近況報告や学生・院生時代の思い出話に浸りました。誰もが愛媛大学での留学生生活は自分の人生の分岐点であり、自分を向上させた貴重な時間だったと改めて実感していました。参加者は口をそろえて愛媛大学での留学生生活は大変意義のある時間であり、自分達を指導してくださった教授の方々への恩を一生忘れてはならないと話しました。また、いかに多忙であろうと毎年11月に支部会を開催する習慣をいつまでも保とうと約束しました。

当日参加することができた者もできなかった方も、2015年の支部会に是非参加したいと言っていました。

来年はぜひ私達が大変お世話になった愛媛大学の教員、職員の方々や友人にベトナムでの支部会に参加して頂きたいです。



■海外支部活動報告

2014年11月26日 ネパール支部活動報告会を開催しました。
会場:Indreni Food Land, New Baneshwor, Kathmandu

ネパール支部は今現在約25名の元留学生が所属しておりますが、大学側の都合に合わせて報告会を企画したため参加者が少なかったです。Shrestha支部長の開会挨拶から始まった報告会は、特に約2週間前にShrestha支部長がホームカミングプログラムに参加してこられたことを中心に行われました。

また、Shrestha支部長に2010年以降から支部活動が少なくなっており、今後復活させる意向も示されました。また、参加者全員が各自の仕事や研究について述べ、最新状況について報告しました。

Tiwari会員、Acharya会員、Timilsina会員、Bhat会員には「JASSO Follow up研究」についても質問がありました。



■海外支部の設置状況

	支部	設立年月	支部長
1	ベトナム支部	2006年 9月	Le Thi-Hai Le (リ ハイレ)
2	中国支部	2006年11月	蔡 英春 CAI, Yingchun (サイ エイシュン) 東北林業大学
3	マレーシア支部	2007年11月	Iswadi Bin Jauhari (イスワディ)
4	ネパール支部	2008年11月	Yogesh Hari Shrestha (ヨゲシュ)
5	インドネシア支部	2013年12月	Herry Suhardiyanto (ヘリー) ポゴール農業大学
6	バングラデシュ支部	2014年12月	Nur Ahamed Khondaker



(任期は平成27年度末まで)

本部

(五十音順・敬称略)

役職	氏名	出身学部等
会長(理事)	森本 惇	愛媛FAZ(株)代表取締役社長 法文学部同窓会
副会長(理事)	一色 昭造	石崎汽船(株)会長 法文学部同窓会
副会長(理事)	高橋 祐二	三浦工業(株)代表取締役社長 工業会(工学部同窓会)
常任理事	池内 浩二	総務部総務課長・総務企画担当
常任理事	稲見 俊光	退職職員会会長
常任理事	江崎 次夫	農学部ユニバーシティ会会長(農学部同窓会)
常任理事	大谷 勲	理学部同窓会
常任理事	小沼 大八	退職教員の会
常任理事	高田 清式	医学部同窓会会長 愛大附属病院総合臨床研修センター教授
常任理事	高橋 治郎	教育学部同窓会会長
常任理事	竹本 孝	国際交流担当(ユニバーシティ)
常任理事	橋 燦郎	農学部教授
常任理事	仁科 弘重	理事・副学長・農学部教授
常任理事	野倉 嗣紀	退職教員の会・総務企画担当
常任理事	野村 靖記	松山総合開発(株)代表取締役社長 法文学部同窓会・総務企画担当
常任理事	松本 長彦	法文学部教授
常任理事	宮崎 道生	工業会(工学部同窓会)
常任理事	森 孝明	法文学部同窓会会長
常任理事	矢野 紘	工業会(工学部同窓会)・総務企画担当
常任理事	八尋 秀典	理工学研究科教授
常任理事	渡部 晴行	退職教員の会会長
理事	赤澤 正人	財務部財務企画課長
理事	東 長雄	理学部同窓会会長
理事	池川 孝文	法文学部同窓会
理事	池田 尊之	教育学部後援会会長
理事	市河 勉	法文学部後援会会長
理事	井上 雅裕	理工学研究科教授
理事	岩田 英信	医学部後援会
理事	亀岡 久志	理学部事務課長
理事	窪田 博継	教育学部同窓会
理事	小池 昭彦	法文学部同窓会
理事	後藤 淳	医学部看護学科同窓会・山陽学園大学
理事	後藤 幹郎	近畿支部長・法文学部同窓会
理事	嶋津 孝	退職教員の会
理事	白石 隆彦	農学部ユニバーシティ会(農学部同窓会)
理事	菅原 康弘	法文学部事務課長

役職	氏名	出身学部等
理事	菅田 颯	教育学部同窓会
理事	竹内 厚	教育学部事務課長
理事	武田 和義	退職職員会
理事	武田 壽	工業会会長(工学部同窓会)・(株)三浦テクノ
理事	竹田 美喜	松山市立子規記念博物館館長・法文学部同窓会
理事	谷 弘幸	理学部同窓会・理工学研究科准教授
理事	谷村 雄二	農学部後援会会長
理事	坪井 敬文	医学部同窓会・プロテオサイエンスセンター教授
理事	鶴崎 孝	退職教員の会
理事	仲田 秀雄	理学部同窓会
理事	野田 忠利	退職職員会
理事	野間須 淳一	農学部事務課長
理事	VERGIN・RUTH	国際連携推進機構 国際教育支援センター教授
理事	羽藤 堅治	農学部ユニバーシティ副会長
理事	馬場 博史	首都圏支部長・農学部同窓会
理事	細川 富生	工学部事務課長
理事	程内 良豊	退職職員会
理事	村瀬 光春	退職職員会
理事	若田 益業	理学部後援会会長
理事	渡邊 政広	工業会(工学部同窓会)
監事	井手 康夫	旧制松山高等学校同窓会
監事	曾我部 雄次	工学部長・教授
幹事	阿部 修一	教育学部同窓会
幹事	阿部 晋	教育学部同窓会
幹事	池内 直之	工業会(工学部同窓会)・南海放送(株)
幹事	柿原 文香	農学部ユニバーシティ会(農学部同窓会)
幹事	後藤 珠希	法文学部同窓会
幹事	城賀本 晶子	医学部看護学科同窓会 大学院医学系研究科看護学専攻助教
幹事	近泉 惣次郎	農学部ユニバーシティ会(農学部同窓会)
幹事	仲田 利通	工業会(工学部同窓会)・(株)アテックス研究部主幹 工学部後援会会長
幹事	松下 志郎	教育学部同窓会
幹事	松田 正司	医学部同窓会 教育・学生支援機構 学生支援センター長・教授
幹事	渡邊 政富	工業会(工学部同窓会)・渡部建設(株)
顧問	大橋 裕一	愛媛大学長
参与	鮎川 恭三	元愛媛大学長



愛媛大学正門から西側にグリーンプロムナード、グリーンプラザなどが整備されました。

平成26年度事業報告及び平成27年度事業計画

区分	事業名	平成26年度事業報告	平成27年度事業計画
会員交流事業	会員ネットワーク事業	Web会員登録システムによる管理データベースを構築した。	校友会報誌を創刊する。
		県内企業等で働く先輩に訪問取材し、ホームページに「先輩学」を掲載した。	県内企業等で働く先輩に訪問取材し、ホームページに「先輩学」を掲載する。
		首都圏、近畿圏で働く新社会人を応援するため「全員集合in東京・大阪」を開催した。	首都圏、近畿圏で働く新社会人を応援するため「全員集合in東京・大阪」を開催する。
	支部設立等事業	国内の支部及び海外の支部に関する事業への支援を行う。	国内の支部及び海外の支部に関する事業への支援を行う。
	人材バンク事業	NPO法人「愛媛大学校友会人材活用センター」事業を支援し、公開講座を開講した。	NPO法人「愛媛大学校友会人材活用センター」事業の支援を行う。
	社会活動支援及び相談事項	えひめ結婚支援センターの協賛企業として登録を継続した。東日本被災地への支援を実施した。	えひめ結婚支援センターの協賛企業として登録を継続する。東日本被災地への支援を実施する。
	就職支援事業	東京、大阪及び広島で開催される合同企業説明会に参加する学生に対し、就職活動を支援した。	東京、大阪及び広島で開催される合同企業説明会に参加する学生に対し、就職活動を支援する。
		医学部生の国家資格取得試験のための資金援助を行った。	医学部生の国家資格取得試験のための資金援助を行う。
	修学資金支援貸与援助	経済的理由により一時的に修学困難な学生に対し授業料半期分相当額を貸与している。また、返還業務の円滑な処理を行った。	経済的理由により一時的に修学困難な学生に対し授業料半期分相当額を貸与する。また、返還業務の円滑な処理を行う。
	新入生及び卒業生記念品事業	新入生に「学修ポートフォリオファイル」を卒業生に「今治タオルマフラー」を贈呈した。	新入生及び卒業生に記念品を贈呈する。
ホームカミングデイ事業	愛媛大学と共催で、第5回ホームカミングデイを11月8日(土)に実施した。	愛媛大学と共催で、第6回ホームカミングデイを実施する。	
大学支援事業	全学支援事業	学生用図書(325冊)を大学に寄付した。	全学的に開催する事業への支援及び資金援助を行う。
	海外派遣制度支援事業	交流協定校及び国際連携課が企画する短期海外派遣プログラム参加者に対する渡航費等の一部補助や保険料等の一部補助を行った。	交流協定校及び国際連携課が企画する短期海外派遣プログラム参加者に対する渡航費等の一部補助や保険料等の一部補助を行う。
	留学生修学資金援助事業	成績優秀者かつ経済的困窮留学生、グローバル人材育成プログラム生への修学資金援助を行った。	成績優秀者かつ経済的困窮留学生、グローバル人材育成プログラム生への修学資金援助を行う。
	学生募集活動支援事業	入試担当職員の進学説明会等への参加に対し、旅費の資金援助を行った。	入試担当職員の進学説明会等への参加に対し、旅費の資金援助を行う。
	課外活動支援事業	愛媛大学が定めた評価基準に基づき、学生団体の平成25年度における課外活動状況を評価し、上位からA～Eの5段階に分類し、支援経費を配分した。また、医学部学生団体連盟に支援経費を補助した。	愛媛大学が定めた評価基準に基づき、学生団体の平成26年度における課外活動状況を評価し、上位からA～Eの5段階に分類し、支援経費を配分する。また、医学部学生団体連盟に支援経費を補助する。
	SSC支援事業	スーパーサイエンス特別コースにおける特別交流授業への実施補助(交流会実施経費等補助)を行った。	スーパーサイエンス特別コースにおける特別交流授業への実施補助(交流会実施経費等補助)を行う。
	英語プロフェッショナル養成コース支援事業	学生の高度で実践的な英語運用能力を養成するため、カレッジTOEIC受験の資金援助を行う。	学生の高度で実践的な英語運用能力を養成するため、カレッジTOEIC受験の資金援助を行う。
社会連携事業	講演会等開催事業	ヴァイオリンリサイタルを開催した。	愛媛大学等と共同して講演会、シンポジウム、研修会等を開催する。
	地域連携支援事業	地域で開催される連携事業に対する支援及び資金援助を行う。	地域で開催される連携事業に対する支援及び資金援助を行う。
	カレンダー共同作成事業	「シキプロジェクト」と共同で「2015子規俳句カレンダー」を作成した。	「シキプロジェクト」と共同で「2016子規俳句カレンダー」を作成する。
	愛大ミュージアム支援事業	企画展示等にかかる実施支援や広報活動の充実支援を行った。また「卒業アルバム検索システム」を更新した。	企画展示等にかかる実施支援や広報活動の充実支援を行う。また「卒業アルバム検索システム」の更新を行う。
管理運営	各種印刷物の発行等	校友会パンフレット「インフォメーション2015」を発行した。	校友会パンフレット「インフォメーション2016」を発行する。
	会議等	理事会(26.6.27)、常任理事会(26.11.27)を開催した。	理事会、常任理事会を開催する。

平成26年度決算及び平成27年度予算

(収入) (単位: 千円)

科目	26年度決算額	27年度予算額	差引増▲減額	備考
	A	B	B-A	
会員会費	39,223	39,260	37	学部・大学院・退職教職員等入会者
受取利息	15	18	3	預金利息
寄附金			0	
返還金(修学資金支援貸与金)	486	1,020	534	
雑収入				
当期収入合計	39,724	40,298	574	
前期繰越収支差額	21,434	18,652	▲ 2,782	
収入総合計 ①	61,158	58,950	▲ 2,208	

(支出) (単位: 千円)

1 事業				
(1) 会員交流事業	12,151	19,772	7,621	会員ネットワーク事業、支部設立等事業、人材バンク事業、社会活動支援及び相談事業、就職支援事業、修学資金支援貸与援助、ホームカミングデイ支援事業、新入生・卒業生記念品事業
(2) 大学支援事業	9,527	10,110	583	学生用図書の購入、海外派遣制度支援事業、留学生修学資金支援事業、学生募集活動支援事業、課外活動支援事業、SSC支援事業、英語プロフェッショナル養成コース支援事業
(3) 社会連携事業	3,021	3,800	779	講演会等開催事業、地域連携支援事業、カレンダー共同作成事業、愛大ミュージアム支援事業
2 管理運営				
(1) 管理費等	7,807	8,050	243	会議等運営費、各種印刷物等、備品及び消耗品費、人件費及び管理費、校友会館運営事業
(2) 予備費	0	5,000	5,000	
当期支出小計	32,506	46,732	14,226	
積立金(特別経理へ)	10,000	0	▲ 10,000	
支出総合計 ②	42,506	46,732	4,226	
次期繰越収支差額(①-②)	18,652	12,218	▲ 6,434	

会員登録について(登録は無料です)

校友会会員(準会員を含む)で住所等を登録された皆さまには、愛媛大学及び校友会の近況やイベント等情報をいち早くお知らせすると共に、大学・校友会が提供するサービスを実践にご利用いただけます。まだ登録されていない方は下記の方法で登録をお願いします。

- WEBから登録 http://koyu.ehime-u.jp/ から入力して下さい。
○ハガキによる登録 ハガキに次の必要事項を記入し投函して下さい。
必須事項:氏名,生年月日,郵便番号,住所,卒業生は卒業学部・学科卒業(修了)年月
任意事項:メールアドレス,電話番号
宛先〒790-8577松山市文京町3番(愛媛大学校友会館2F)愛媛大学校友会事務局



(校友会オリジナルクオカード)

校友会の組織・会員等について

愛媛大学校友会は平成16年3月20日に愛媛大学の発展に寄与すると共に、会員相互の親交を図ることを目的に設立された団体です。正会員になりうる者は、愛媛大学の各同窓会員(卒業生)、後援会員、退職教職員、現職教職員等で、準会員となりうる者は、愛媛大学在学学生です。現在、会員は準会員を含めて12万人を超えています。

また、校友会と同窓会の違いはというと、同窓会は学部ごとに組織された団体ですが、校友会はすべての学部の垣根を越えて組織された団体で、後援会員、退職・現職教職員及び在学学生(準会員)も含まれる点で大きく異なります。

(愛媛大学校友会会則)

第1章 総則

- (名称)
第1条 本会は、愛媛大学校友会と称する。
(目的)
第2条 本会は、愛媛大学の目的及び使命の達成を支援することにより愛媛大学の発展に寄与するとともに、会員相互の親交を図ることを目的とする。
(事業)
第3条 本会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。
(1)教育研究に対する支援事業
(2)地域社会及び産官学との連携を支援する事業
(3)会員相互の親交を図る事業
(4)その他目的を達成するために必要な事業
(所在地)
第4条 本会は、主たる事務所を愛媛大学内に置き、必要の地に支部等を置くことができる。

第2章 会員

- (会員の構成)
第5条 本会は、正会員、準会員及び賛助会員をもって組織する。
(正会員)
第6条 正会員となりうる者は、次の各号の一に該当する者とする。
(1)次に掲げる同窓会の会員(うち第7条に該当する者を除く。)
旧制松山高等学校同窓会
法文学部同窓会
教育学部同窓会
理学部同窓会(理学同窓会)
医学部同窓会
医学部看護学科同窓会
工業会
農学部コーカリー会
(2)次に掲げる後援会の会員
法文学部後援会
教育学部後援会
理学部後援会
医学部後援会
工学部後援会
農学部後援会
(3)退職教職員の会及び退職職員会の会員
(4)愛媛大学の教職員
(5)第1号の会員以外で、愛媛大学の学部、専攻科、大学院研究科、附属農業高等学校及び前身関係諸学校のいずれかに在学した者
(6)前各号のほか、愛媛大学の諸活動に理解のある者
(準会員)
第7条 準会員となりうる者は、愛媛大学に在学する者(愛媛大学附属高等学校及び愛媛大学教育学部の附属学校に在学する者を除く。)とする。
(賛助会員)
第8条 賛助会員となりうる者は、本会の事業を賛助する個人、会社、団体等とする。
(入会)
第9条 本会は、第2条の目的に賛同し、入会した者を会員とする。
(会費)
第10条 会員は、別に定める会費を納めなければならない。

第3章 総会

- (総会)
第11条 本会の総会は、定時総会及び臨時総会とし、正会員をもって構成する。準会員は、総会に出席して、意見を述べることができる。
2 定時総会は、3年に1回開催し、臨時総会は、必要に応じて開催するものとする。
(招集)
第12条 総会は、会長がこれを招集する。
2 臨時総会は、会長又は監事が必要と認めるとき及び2分の1以上の理事から開催請求があったときに開催するものとする。
(開催の周知)
第13条 総会の開催は、開催日の2週間前までに、会員に対して期日及び場所等を適切な方法により周知する。
(審議事項)
第14条 次に掲げる事項は、総会に提出し、その承認を得なければならない。
(1)会則の改廃
(2)理事及び監事の選任及び解任
(3)事業報告書及び収支決算書
(4)事業計画書及び収支予算書
(5)本会の解散
(6)その他会長が必要と認める事項
2 前項第3号及び第4号については、理事会、第2号及び第6号については常任理事会を会長が招集して総会に代わり議決を行うことができる。この場合、会長は総会で事後承認を得るものとする。
(決議の方法)
第15条 総会の決議は、出席した正会員の過半数の同意をもって、これを決する。なお、可否同数の場合は議長が決することによる。
2 前項の規定にかかわらず、本会の解散の決議については、出席した正会員の4分の3以上の同意をもって、これを決する。
(議決権)
第16条 各正会員は、各1個の議決権を有する。

第4章 役員

- (役員)
第17条 本会に、次の役員を置く。
(1)理事 40人以上 70人以内(うち、会長1人及び副会長若干人)
(2)顧問 1人
(3)監事 2人
(4)幹事 200人以内
2 本会の役員として、相談役及び参与を置くことができる。
(資格及び選任)
第18条 本会の役員は、会員の中から選任する。
2 理事及び監事は、総会において選任する。
3 理事の後継者については、各同窓会及び各退職者会ごとにそれぞれの会員の中から選出する者各2人、各後援会の会員の中から選出する者各1人、愛媛大学教職員若干人を含めるものとする。
4 顧問は、愛媛大学長をもって充てる。
5 監事は、他の役員を兼任することができない。
6 幹事は、理事会において選任する。

(任期)

- 第19条 理事及び監事の任期は、定時総会において選任された時から、次回の定時総会が終結する時までとする。ただし、再任を妨げない。
2 幹事の任期は、理事会において選任された時から、翌年以降に開催される次回の定時総会が終結する時までとする。ただし、再任を妨げない。
3 任期満了前に退任した理事、監事及び幹事(以下本条において「理事等」という。)の補充の任期は、前任者の残任期間とし、また、増員により選任された理事等の任期は、他の在任理事等の残任期間と同一とする。
4 理事等が辞任したときは、後任者が就任するまで、その職務を行うものとする。ただし、理事及び幹事において後任者を選任しない場合は、この限りでない。
(会長)
第20条 本会には、会長1人を置き、理事の互選によりこれを定める。
2 会長は、本会を代表し、その業務を統轄する。
3 会長は、総会及び理事会を招集し、その議長となる。
(副会長)
第21条 本会には、必要に応じ副会長若干人を置く。
2 副会長は、会長を補佐する。
3 副会長は、理事のうちから、理事会の承認を経て、会長が指名する。
(理事)
第22条 理事は、会務を掌理する。
(顧問)
第23条 顧問は、会務に関する重要事項について、助言する。
2 顧問は、理事会及び常任理事会に出席して、意見を述べることができる。
(相談役及び参与)
第24条 相談役及び参与は、本会の諮問に応じる。
2 相談役及び参与は、理事会の承認を経て、会長が委嘱する。
(監事)
第25条 監事は、会務及び会計を監査する。
2 監事は、理事会及び常任理事会に出席して、意見を述べることができる。
第26条 幹事は、理事の職務を補助し、本会の事業活動の実施に当たりその担当を担うものとする。
(理事会)
第27条 理事会は、理事で構成する。
2 理事会は、会長が必要と認められた場合に開催し、本会の業務運営について審議する。
3 会長は、2分の1以上の理事から理事会の開催請求があったときは、会議を招集しなければならない。
4 理事会は、次に掲げる事項を審議する。
(1)総会の議案
(2)事業報告書及び収支決算書
(3)事業計画書及び収支予算書
(4)その他会務に関する重要事項
(5)資産管理に関する事項
(6)幹事の選任に関する事項
(7)その他会長が必要と認める事項
5 理事会には、常任理事会を置く。
6 理事会は、特定の事項を検討、実施するため、必要に応じて専門委員会を置くことができる。
(常任理事会)
第28条 常任理事会は、理事のうちから理事会で選任する35人以内の常任理事で構成する。
2 常任理事会は、会長が必要と認められた場合に開催し、会務の運営及び実施について審議する。
(決議の方法)
第29条 理事会及び常任理事会の決議は、構成員の3分の1以上が出席し、出席者の過半数の同意をもって、これを決する。なお、可否同数の場合は議長が決するところによる。ただし、あらかじめ書面をもって意思を表示した者は、出席者とみなす。
2 前項の規定にかかわらず、会則の改廃及び本会の解散の決議については、出席者の4分の3以上の同意をもって、これを決する。
(事務局)
第30条 本会に、事務局を置く。
第5章 資金及び事業年度
(資金)
第31条 本会の資金は、会費、寄附金及びその他の収入をもって充てる。
(事業年度)
第32条 本会の事業年度は、毎年4月1日から翌年3月31日までとする。
(監査)
第33条 会長は、毎事業年度ごとに決算書を作成し、当該事業年度の終了後1月以内に監事の監査を受けなければならない。
第6章 附則
(施行日)
第34条 本会則は、本会成立の日から施行する。(参考:H.16.3.20設立総会開催)
(細則)
第35条 本会則施行についての細則は、理事会の決議に基づき別に定める。
(最初の役員(任期))
第36条 本会の最初の役員(任期)は、第19条にかかわらず、平成19年3月31日までとする。
(最初の事業年度)
第37条 本会の最初の事業年度は、第32条にかかわらず、本会成立の日から平成17年3月31日までとする。

附則

- この会則は、平成18年7月8日から施行する。
附則
この会則は、平成25年7月27日から施行する。

平成23年3月、現在の新しい御幸学生宿舎が出来ました。皆さん、今の御幸学生宿舎がリニューアルする前は「御幸寮」であったことをご存知でしょうか。

御幸学生宿舎は愛媛大学城北キャンパス西側、大学まで自転車で10分程度という恵まれた環境に位置しています。以前の御幸寮は数多くの先輩達が入居し利用されました。

最近、卒業生の方々から、「以前の御幸寮が建て変わったらしいと聞くのですが、今はどうなっているのか知りたいです。」というお話をよく耳にしました。そこで校友会事務局では、現在の宿舎のことを、入居している現役学生4人にインタビューしたり、宿舎の写真を掲載することで卒業生だけでなく現役の学生にも知ってもらおうと企画し記事にしました。

★平成26年7月末現在の入居状況等は次のとおりです。

総部屋数 472部屋 入居者452人(入居率95.8%)

	部屋数	入居者数	寄宿料	共益費	備考
男子A棟	155 (内留学生分70部屋)	147人 (内留学生 68人)	16,000円	2,000円	1人室 11.7㎡ (約3.5坪)
男子B棟	140	136人	20,000円	2,000円	1人室 13.44㎡ (約4.1坪)
女子C棟	105	100人	20,000円	2,000円	1人室 13.68㎡ (約4.1坪)
女子D棟	72	69人	20,000円	2,000円	1人室 13.68㎡ (約4.1坪)
合計	472	452人	入居率 95.8%		



〈左奥から手前に向かって男子A棟、男子B棟、女子C棟、女子D棟〉
A棟(旧男子寮)とD棟(旧女子寮)は改築、B棟、C棟は新築されました。



〈ユニットバス〉



〈売店〉



〈台所〉上部に棚あり



〈コインランドリー〉各階にあり



〈自転車置き場〉



〈郵便受〉
個人名ではなく、部屋番号のみ記載



〈倉庫〉
(風呂場「御幸の湯」跡地)



〈部屋内部〉
折り畳みベッド、備え付け机

★インタビューにご協力いただいた入居学生4名

平成23年度入学 法文学部 Mさん(島根県出身),平成23年度入学 法文学部 Tさん(長崎県出身)

平成25年度入学 法文学部 Kさん(鬼北町出身),平成25年度入学 工学部 Aさん(大阪府出身)

Q1 入るきっかけは？

- ・試験で松山へ来た時、パンフで知った。知人も居ないし、学生宿舎に入れば友達が増えると思った。
- ・民間よりも家賃が安い、大学から比較的近い。
- ・両親は一人暮らしに反対したが、一人暮らししたかったため、入学案内で宿舎を知り両親を説得した。
- ・下見に来て即決した。妹も入居している。
- ・家庭に経済的余裕が無かったこと、松山に知り合いも居なかったこともあり、親と相談して決定した。

Q2 宿舎に入って良かったこと、悪かったこと。

〈良かった〉

- ・家賃が安い。
- ・男女分かれているし、管理人常駐でセキュリティが万全。
- ・他の学生と会話ができる。
- ・一人で生活するには不自由しない。
- ・インターネットが非常に安く利用できる(¥1,706/月)。
- ・1Fのフードコーナーの食事が結構美味しくて、よく利用している。

〈悪かった〉

- ・非常に狭い、荷物が入らなくて持ち帰った。
- ・台所が狭すぎて料理が出来ない。
- ・部屋に洗濯機がなく、共同のコインランドリー使用料が高い(1回200円)、小さい(1回4.5kgまで)。

Q3 入居者同士の交流について

- ・ほとんどありません、隣同士は挨拶程度ですが、階や建物が違うと交流無し。
- ・自治会もなく、寮祭もない。
- ・4月に30人程度で花見はあった。

Q4 先輩にメッセージがあれば何か。

- ・全体としては満足しています。自分の時間が取れますので学習もよく出来ますよ。
- ・セキュリティ万全なので、安心して入居してきてください。
- ・大学寮であるという集団意識を持ってほしい。ゴミ出し、洗濯機の使用など周りに迷惑がかからないようにして欲しい。管理人の方や入居者同士の挨拶とか小さなことからしてほしいです。

愛媛大学御幸寮の記憶 佐伯雅弘 昭和59年3月 理学部数学科卒



〈最前列右から4番目が佐伯様〉

愛媛大学理学部13回卒の佐伯雅弘と申します。現在、理学同窓会東京支部総務幹事・校友会首都圏支部役員をしながら、千葉県の子立船橋高校というところで数学の教員をしています。早いもので愛媛大学を卒業させていただいてから、30年ほどの月日が流れました。愛媛大学に入学当初は当時の御幸寮に滞在していた時期がありましたので、僅かな記憶ながら当時のことを思い出してみたいと思います。

私が愛媛大学入学と同時に御幸寮に入ったのは今から30年以上前の昭和55年4月、食事代を除く寮費は当時の金額で毎月300円でした。これから一人暮らしを始める際に全くお金のない当時の自分にとって、この額は非常に魅力的でありました。と同時に、愛大合格後は果たして入寮させてもらえるかどうかの不安もありました。ですから結果的に入寮させていただき、当時の愛大関係職員の方々には、今も深くお礼申し上げます。

入学式前に僅かポストンバッグ2つのみで千葉から出発。まだ瀬戸大橋が無かった当時、13時間かけて国鉄松山駅に到着後、御幸寮に向かった当時「これからどんな生活が始まるのだろう」という不安な気持ちを抱えていたことを今でも懐かしく覚えております。

当時の御幸寮は4人1部屋で、先輩と一緒にでした。私の記憶によれば部屋の中は大きく2つの区画に分かれ、奥の区画に2段ベッドが2つ、そして入り口付近の区画に勉強部屋があったように覚えております。部屋には当然ながらテレビもありませんでしたから(確か食堂に1台だけあったような...)、私は当時僅か4インチの安い白黒テレビを買って情報収集していました。その小さなテレビ画面を先輩達が見て、夜11時になると「おい、佐伯! プロボ野球ニュースを見せろ!」と言われたのを覚えています。

各階に洗濯機とガスコンロがあるスペースがあり、空いているときに洗濯機で自由に洗濯をし、先輩達がガスコンロを用いて夜食用のラーメンを作っていたことを覚えています。なぜか記憶にあるのは、毎晩のように作っていました「チキンラーメン」です。冷蔵庫は共同、風呂は

大浴場、4人部屋かつ初めて親元を離れての生活ということもあって、何となく毎日が修学旅行のような印象の寮でした。

新入生歓迎会もあったと記憶しています。詳細は忘れましたが、先輩達の前で歌を歌わされ、先輩達が当時の成績の「優」「良」「可」で評価されていました。ちなみに私は「可」でした。確か寮祭もあったような記憶が、..夜に先輩達に先輩達に松山城公園まで行ったり、道後温泉駅まで行ったりの記憶があります。何だったか忘れてましたが、夜に中庭部分の女子寮前まで先輩達に連れられて整列。屋上から女子がバケツで水を浴びせるといったことも記憶にあります(これらが寮祭だったかは覚えていませんが)。それらのイベントの終了後も夜中の午前2時半頃に先輩に突然起こされて、新入生は廊下に整列。自分の氏名・学部・学科・出身地等を述べさせられるなどの挨拶をさせられた記憶が残っています。今考えると、とんでもないですね。

更に先輩達が企画して、新入生の男子学生・女子学生の交流イベントもあったと記憶しています。振り返ってみますと、沢山の行事があったように思います。

そんなこんなで月日が流れますと、寮費が安いということよりも、さすがに当時の自分もプライバシーが欲しいと思うようになってきました。「1回生のうちに寮を出て下宿生活に変えたい」と両親に連絡したところ、「甘たれるんじゃない。もっと勉強せよ。」と、叱咤されました。ただ私の親も後で心配になったのか、親戚が西条市にいましたので、その親戚に極秘連絡して「親戚付き合いによる私との再会」として、わざわざ仕事の合間を縫って西条市から愛大御幸寮まで面会にきてくださったことは今もはっきり覚えています。

後で聞かされたのですが、御幸寮まで来た本当の目的は、その親戚の方が「愛大入学後の私の寮生活を偵察する」ことだったとのことでした。今になって考えればその親戚の方が「佐伯君の寮生活の部屋まで見せてほしい」と強く言っていたのは、その為だったのかと理解した次第です。

しばらくして当時の私は何も知らないまま「やっと下宿生活に移行できる」と思ったものでした。結局私の学生生活は

多くの方々に支えられていたのだと、後になって知りながらも多くの方に感謝しております。

そんな寮生活でしたから、現在は「御幸寮」から「御幸学生宿舎」にリニューアルされたということを聞きまして、こんなことを言っただけで当時の関係者に失礼ですが、私が在学中に望んでいたプライバシーが保護されていて、今の学生さん達が凄く羨ましく思います。1階にはフードコーナーまであるんですね。立派です。当然ながら今の時代、きちんとした利用規則まであり、ここまでの改善にご尽力なさった方々に敬意を表したいと思います。ちなみに既に30年以上過ぎていきますので申し上げますと、私が御幸寮に入った当初先輩達の中には留年された5回生・6回生もおりました。

御幸学生宿舎の「入居のしおり」もざっと見させていただきましたが、社会人として当たり前のことがほとんどだと思えます。私はしおりの最初にある「三つの自覚」「三つの実行」が素晴らしい内容だと思っています。現役の学生さん達には読むのが大変かもしれませんが、過去の教訓に基づいて丁寧に作成されていると思いますので、感謝の気持ちで読んでもらいたいです。私は愛大在学中に学問としての専門知識だけでなく、社会人としての基本や人間関係など多くのことを学びました。それらが卒業しても長く役立っています。そして後輩達にも御幸学生宿舎で多くのことを学んでもらいたいと思っています。

以上、長々と書いてしまいましたが、今後も愛大を陰から支える施設の一つとして存在し続けてもらいたいと願っております。当時私と一緒に御幸寮に入った新入生達の現在は存じ上げませんが、どこかの第一線で活躍されていらっしゃると思います。

ありがとうございました。追伸 御幸寮にいた頃、よく飲み屋だったか「一魂(いっこん)」という食事場所に先輩達に連れられていったのを覚えています。御幸寮から歩いて10分程度の場所にあったような..

現在もあるのでしょうか。もしありましたら凄いです。

御幸寮の思い出 三宅一夫 昭和43年文理学部文乙(経)卒

"春が〜来たかよ〜 御幸寮のお庭によ〜 桜 咲いた咲いた ステテコ シャンシャン"



昭和40年 学園祭でステテコ踊りに出発/
御幸寮生と御世話になっている炊事の方々(左の旗手:三宅様)



昭和40年 新築した御幸女子寮



昭和40年 学内カッターレース大会



昭和39年
寮対抗競技会打ち上げ 御幸寮にて



昭和39年
松山市オリンピック聖火リレー



昭和40年
大学祭での御幸寮ステテコ踊り行進

昭和39年 東京オリンピックの年3月岡山県都窪郡庄村島島(現、倉敷市島島)から山陽本線の岡山駅で宇野線に乗り換えて、宇高連絡船で四国にわたり、高松から松山まで、準急(当時特急電車はありませんでした)で約2時間半、やっと着いたのが、松山駅でした。路面電車で城北廻りに乗り、木屋町駅で下車して御幸寮に行ったのが今でも大変懐かしく思い出されます。寮について事務室で手続きして、北寮の1階の自室まで裸電球がぶら下がった暗い廊下、足元をよく見ないと床の板に穴が開いていたのを今でもはつきりと覚えています。「とんでもないところに来た」と思いながら自室に入ると、畳部屋(3人部屋)に座り机が3つ窓際に並んでいました。1年先輩の方が指導寮生として新入寮生2名との相部屋でした。

当時の御幸寮は、北寮・南寮・青雲寮でした。青雲寮は翌年(昭和40年)御幸女子寮として鉄筋コンクリート3階建てが立ち、祝谷女子寮が閉鎖されました。その年他大学の男子が真夜中に女子寮に忍び込み、女子寮生の叫び声に我々は、直ちに女子寮の搜索と女子寮を朝方まで、取り囲み全員で輪を組んで警備したことが、今でも懐かしい思い出の一つです。

入寮当時の食事代は、3食で90円でした。朝ごはんは13円、今でもよく覚えています。炊務委員をしていた私は、炊事の人達と夕方の食材の買い出しに同行し、食材の購入に苦労されていることを目にしました。売れ残ったキャベツ・じゃがいもは少々ひなびている安いものを買ひ、お米は5等米に外米を混ぜたものでした。2年になるころ、90円ではもうやっていけないと言われ、寮費の値上げを検討し、5円値上げして、1日95円の案を寮生会議に提案。

寮生の猛烈な反対で苦労しましたが、何とか合意を取り付けたのも良い思い出です。入寮した昭和39年は、まだ旧制高校のパンカラな雰囲気があり、先輩と廊下ですれ違う時は、90度のお辞儀を強要され、1年365日深夜から朝方までストームと言って先輩から説教の毎日でした。大学祭・寮対抗球技大会・学内対抗カッターレース大会(梅津寺)などの行事の後、日本酒を大釜で熱燗にして"やかん"に入れ、コップについて回り、楽しい飲み会(コンパ)が始まりました。こうしたコンパは度々開かれ、学生時代の楽しい思い出となりました。

行き過ぎたパンカラは、今後見直そうと若手が団結して寮の自治権を先輩から奪取し、パンカラを一掃して、昭和40年春新入生を迎えました。南寮の先輩達からパンカラ一掃には同意するが、『2階の窓からおしっこをするのは認めてほしい。』と言われました。これは、昔からの伝統でしたが、一階の自転車置き場のトタン屋根に当たり、1階の廊下に入ってくるので、何とも不潔なことでした。どう解決したか覚えていませんが、次第にこの風習も無くなっていきました。

2年生になって、同僚・後輩たちにパンカラがどのようなものか見せようと、私が団長となって当時パンカラの風習が強く残っていた高知大学南浜寮に御幸寮生12名を連れて視察旅行に行きました。8回生は正に神様扱いで、羽織袴をはいて8回生の後には、7回生、6回生と続き竹刀を持って学内を歩くことや、「ゲテモノ喰いクラブ」「忍者クラブ」など当時の愛媛大学にはないクラブが沢山存在していました。

そして夏休みを迎え、大半の寮生も帰省、私も帰省しました。そして、9月寮に戻っ

てきたときの驚きを今思い出します。北寮・南寮の窓ガラスが全部割れていました。夏休みに残っていた寮生(多分先輩達)が酒の勢いで割ったように聞きました。パンカラ一掃の付けが回って来たようでしたが、私はすぐに大学に説明をしに行き、頭を下げてお願いして、ガラス窓も元通りしていただきました。

9月になって、古い寮を立て直し、鉄筋の新しい寮建設の話が大学側からあり、新寮建設が大きな寮問題として浮上し、ほとんど寝る時間がなく、委員会の議論に明け暮れ、最終的に昭和41年3月に新寮建設の結論が出て、疲れ果てた私は退寮を決意しました。

卒業後、新しくなった寮の話を聞く度に懐かしい古の御幸寮を思い出していましたが、しばらくして恩師の故、若林学部長から学生運動でのご苦労や御幸寮の荒れた話を聞く度に一抹の寂しさを感じておりました。しかし、最近の御幸学生寄宿舎は古の面影もなく、立派な生活環境に生まれ変わり、素晴らしい環境の中で過ごされている学生さんたちのことを思うと、この50年間の歩みは間違っていなかったと痛感しています。

今でも、昭和40年卒業生以降の御幸寮生同窓会が開催されているようです。今年も9月に松山で開催されると先日聞きました。何人が懐かしい方々が参加されるようで、今50年前の御幸寮での懐かしい思い出に浸っています。

2015年1月に投稿された佐伯さんの御幸寮の思い出を拝読し、佐伯さんの過ごされた御幸寮の前の御幸寮の思い出を辿ってみました。長文・駄文で思いつくまま記述し大変失礼いたしました。以上

御幸寮や拓翠寮に関する思い出や写真がありましたら、是非、ご寄稿ください。

■愛媛大学は、平成28年4月、新学部「社会共創学部」を設置し、あわせて、法文学部、教育学部及び農学部を改組することが文部科学省より本年8月31日に認められました。

学部を設置するのは、1973年(昭和48年)に医学部を設置して以来43年ぶりで、本学は法文学部、教育学部、社会共創学部、理学部、医学部、工学部、農学部の7学部となります。

①「社会共創学部」(定員180)を新設

きみ ~君を創る学び、きみ 君達がつなが社会~

地域の持続的な発展に貢献する人材育成を目指します。

教育理念

様々な地域社会の持続可能な発展のために、地域の人達と協働しながら、課題解決策を企画・立案することができ、様々な地域社会を価値創造へと導く力を備えた人材を育成します。

学部の特色

●多彩な教員による教育
多様な専門分野の教員を法文学部、教育学部、理学部、工学部、農学部、医学部から選抜し配置することにより、学部の教育理念に沿った教育を実現します。

●フィールドワーク等の実践教育を実施
様々な専門分野の教員が、フィールドワークなど実習科目を核とした文系・理系の多様な科目から成るカリキュラムを設け、学生・地域の人々・教員とが一体となった実践教育を実施します。

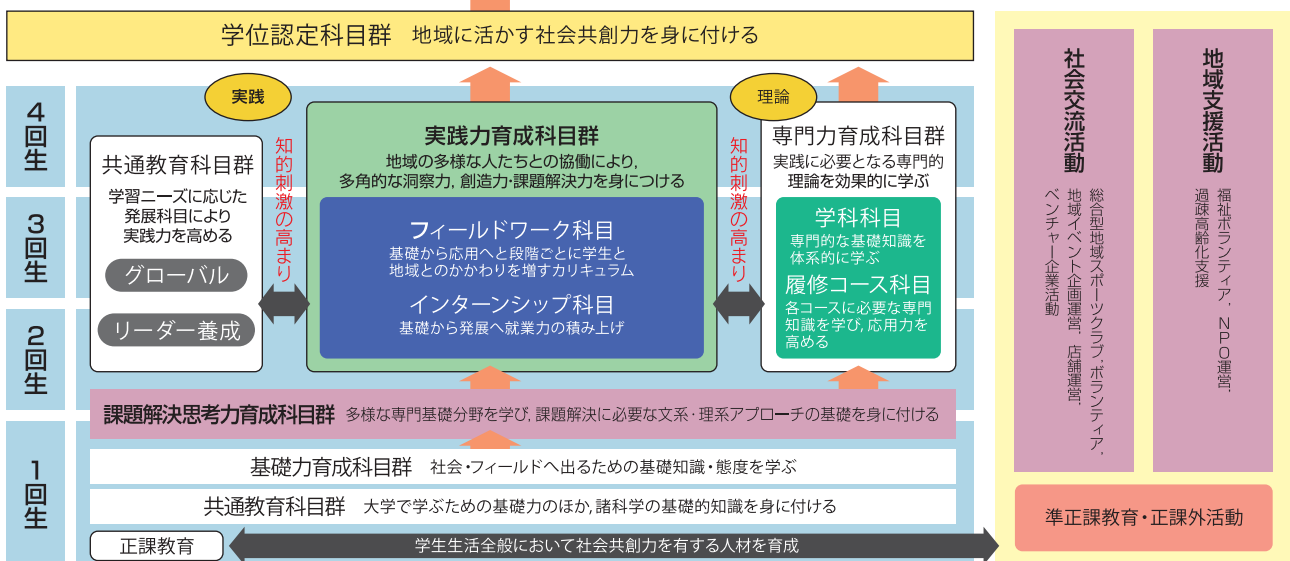
学科・コース

<p>産業マネジメント学科 (定員70)</p> <ul style="list-style-type: none"> 産業マネジメントコース 事業創造コース 	<p>地域経済を構成する企業・住民・自治体などの要素と、企業を構成するヒト・モノ・カネ・情報といった経営資源について学ぶと同時に、これらを実社会で適切にマネジメントする能力を養うために、地域産業や地域企業と連携して各種プロジェクトの実践を行います。これらの教育を通じて、企業・組織を共に盛り上げ、事業を共に革新する人材を育成します。</p>
<p>産業イノベーション学科 (定員25)</p> <ul style="list-style-type: none"> 海洋生産科学コース 紙産業コース ものづくりコース 	<p>従来の農学系・工学系を教育体系をベースとし、愛媛県の特徴である水産業・紙産業・ものづくり産業を中心とした教育を通じ、日本の産業社会において、技術・技能、経営に関して改善提案できる、未来の産業を切り拓く人材を育成します。</p>
<p>環境デザイン学科 (定員35)</p> <ul style="list-style-type: none"> 環境サステナビリティコース 地域デザイン・防災コース 	<p>自然科学と社会科学の両方を含んだ文系・理系の学問分野横断型教育の下、自然環境や社会環境の総合的デザインに関わる実践的な知識や技術に基づいて、地域社会が抱える危機をとりえ、人と自然が共生する持続可能な地域社会と共に築き上げる人材を育成します。</p>
<p>地域資源マネジメント学科 (定員50)</p> <ul style="list-style-type: none"> 農山漁村マネジメントコース 文化資源マネジメントコース スポーツ健康マネジメントコース 	<p>地域資源に関する幅広い専門知識及び研究能力、並びにこれら資源を実社会で活用・創造等ができるマネジメント能力を養い、多様な地域ステークホルダーとの協働を通して地域の資源を生かした活動(企業内外含む)を行います。このような実践的な教育方法を通じて、農山漁村振興・地域資源発掘・スポーツ健康保持増進を担う人材を育成します。</p>

カリキュラム概要

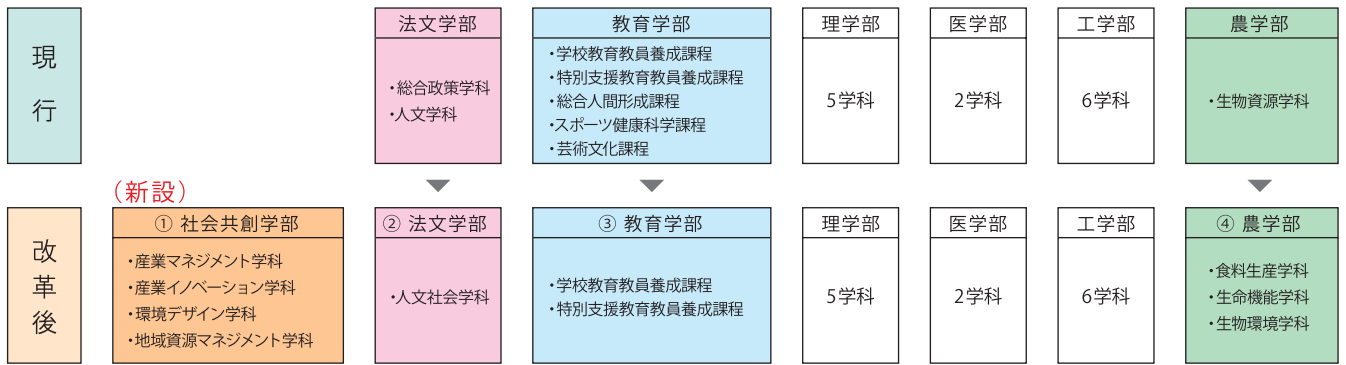
フィールドワーク、「インターンシップ」を核とした実践力育成と、英語力育成・リーダーシップ育成など、多様な学びの機会を提供します。

地域の人々と協働し課題解決へ導く人材を育成



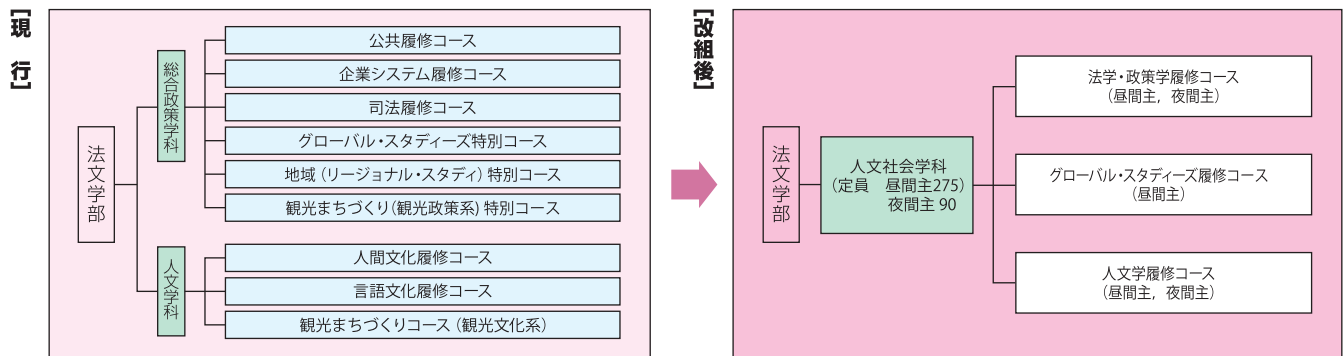
想定される進路

○民間企業(製造、販売、流通、情報通信、金融、観光、マスコミ、ディベロッパー、コンサルタントなど) ○公務員(国家公務員、地方公務員、国際機関の職員など) ○団体職員(社団法人、財団法人、社会福祉法人、NPO、NGO、病院、JA、漁協など) ○研究機関 ○自営・起業・社内ベンチャー ○進学(大学院や専門教育機関への進学、海外留学など) ○その他(税理士、公認会計士、中小企業診断士など)



② 法文学部は1学科3コースに

人文社会語科学の知識を基盤として、実践の場で適切な判断を下し行動することができる能力を備えたグローバル人材を育成します。

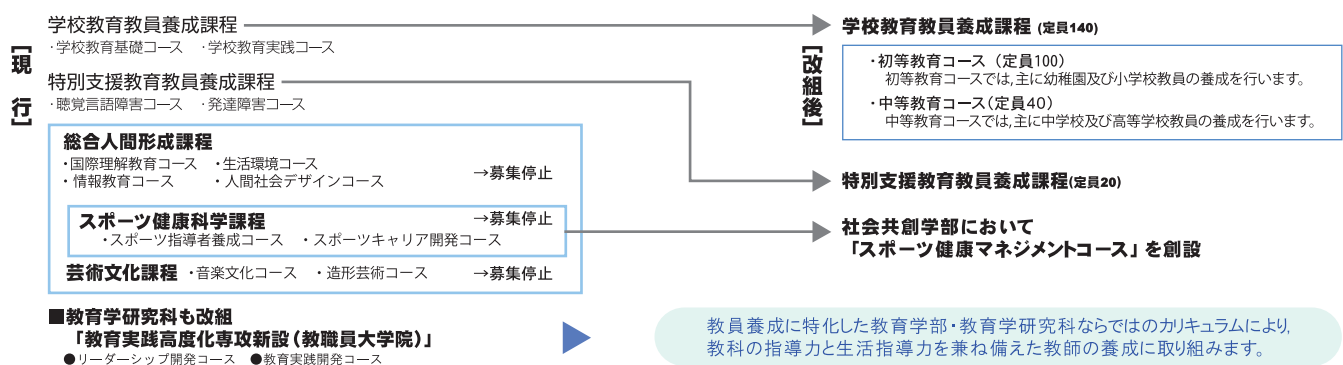


- 想定される進路**
- 国家公務員(外務公務員や税関職員を含む)
 - 地方公務員
 - 大学職員
 - 法律専門職(司法書士, 行政書士, 裁判所事務官など)
 - 地元民間企業(金融機関, 商社, 小売業, マスコミ, ホテル・旅行業, 製造業など)
 - 各種団体職員
 - 教員(国語・英語・社会・地理歴史・公民)
 - 大学院(法科大学院, 教職大学院, 海外の大学を含む)進学
 - NGO
 - NPO など

- グローバル・スタディーズ履修コースとは
- 外国語運用能力, 異文化理解力, 交渉力・協働力等の強化を図るとともに, 専門知に基礎づけられた, グローバル人材に求められるコミュニケーション能力と汎用的能力を育成する。
 - 海外体験率100%, TOEIC700点以上を目標とする。

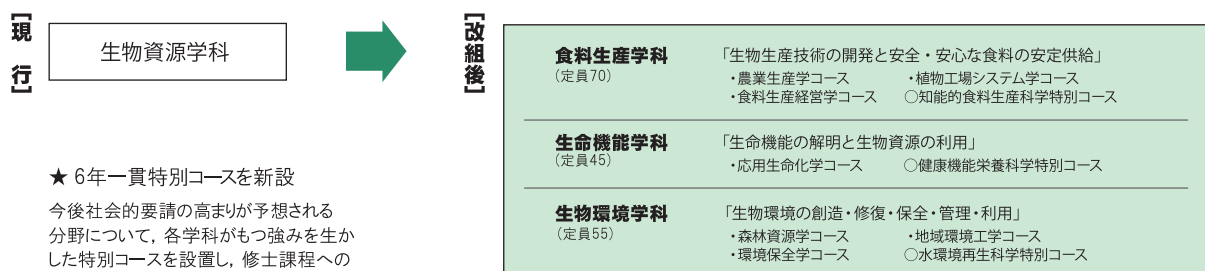
③ 教育学部は「教員養成」に特化

教員免許状の取得を目的としない課程, コースを廃止して教員養成に特化します。



④ 農学部は「食料」「生命」「環境」の3学科に

地域社会や国際社会における「食料」「生命」「環境」に関する様々な問題を解決し, 自然と人間が調和する循環型社会の創造をより効果的に進めるための人材を育成します。



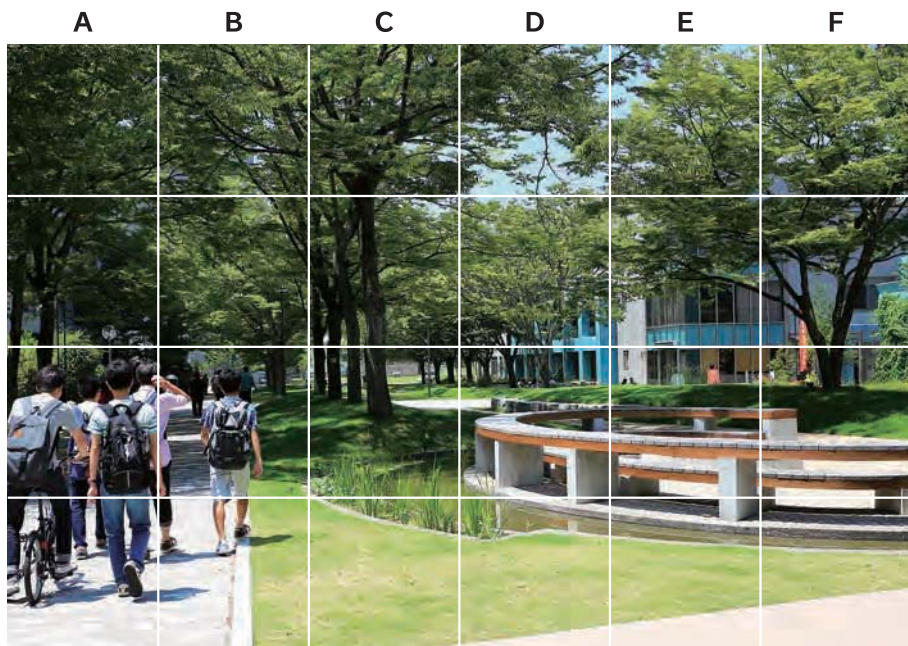
★6年一貫特別コースを新設
今後社会的要請の高まりが予想される分野について, 各学科がもつ強みを生かした特別コースを設置し, 修士課程への進学を前提とした6年一貫教育を実施します。

想定される進路

- 食料, 農業ICT, 化学, 医薬, 環境などに関する企業, 団体など
- 大学院への進学
- 技術者
- 研究者
- 公務員など

表紙の写真と比べて、間違いが5カ所あります。その間違いを探してください。応募は郵便ハガキにて下記記入例を参照の上、平成28年4月30日(土)(消印有効)までに本会事務局宛にお送りください。正解者には抽選で100人に校友会が作成した「オリジナルクオカード」(500円分)を贈呈します。

なお、**応募資格は校友会会員**とし、正解者の発表は賞品の発送(平成28年5月上旬)をもって替えさせていただきます。



解答にいただいた個人情報、校友会事務局が適切に管理し、賞品の発送及び校友会活動にかかわる情報等をお知らせするためにのみ使用いたします。

(記入例・郵便ハガキ裏面)

1	1. 間違いの箇所	① 記入例 F-4	②	
		③	④	
		⑤		
	2	2. 氏名(ふりがな)		
		3. 住所(〒 -)		
4. 電話番号				
5. メールアドレス				
3	6. 応募者区分(校友会会員に限ります。)			
	★在学生、卒業生の場合	在籍学部・学年又は卒業・修了学部等 (年入学又は 年 月卒・修了)		
4	★現職又は退職教職員の場合	現在の配属部署又は退職時の配属部署と年月 ----- ~校友会報(創刊号)についてご意見ご感想を ご自由にお書きください。~		
		ご応募ありがとうございました。		

事務局だより

愛媛大学校友会の事務局は、校友会館2階にあるのをご存知でしょうか。

事務局では、皆さまが会員入会時の入会金により、在学生や卒業生に様々な支援事業を実施しています。校友会はご承知のとおり各学部の後援会や同窓会とは異なり、全学の在学生や卒業生を対象に支援していますので、その具体的な支援事業は校友会総会、理事会及び常任理事会等を開催し決定しています。

また、校友会は本部以外にも国内支部や海外支部を設立し、ホームカミングデイや講演会を開催したり、新社会人を応援するイベントを開催するなど、卒業生同士の交流やネットワークを構築するためのお手伝いをしています。

会員の皆さまには『校友会報』をご愛読いただき、忌憚のないご意見をいただくとともに、ますますのご支援を事務局一同、心よりお願い申し上げます。



校友会館外観



校友会事務局



スタッフ一同

校友会報の創刊にあたり編集委員会を設置し、編集委員には校友会常任理事(総務企画・会計担当)の5人の方々にご協力いただきました。

各委員から創刊に当たってのメッセージなどをいただきましたので紹介いたします。

なお、仁科弘重委員につきましては3ページをご覧ください。

【野倉嗣紀委員長】

設立から10年が過ぎ、校友会でも会報を作る体制が整いました。現時点では年1回の発行を予定しています。創刊号ということもあって思いのほか内容が多くなりました。今後の編集の参考にするため、皆様からの忌憚のないご意見、あるいはご要望等お寄せ頂ければ幸いです。よろしく願いたします。

【野村靖記委員】

校友会報が会員皆様にとって校友会・大学・学生等の活動状況を知るために必要なものになることを期待しますとともに、学生・教職員・後援会会員等を繋ぎ、縦(同窓)と横(同期)を連帯させ、愛媛県内と県外・海外を結ぶための一助となることを心より祈念致します。

【矢野紘委員】

地域に開けた大学実現や耐震工事のため、城北キャンパスは大きく変わりました。ミュージアム、ショップ、レストラン、カフェ、ホール等、部外者も利用できますし、正門から続く170メートルのグリーンプロムナードは散策にもってこいです。

11月14日はホームカミングデイが開かれ多くの人が集まります。この機会に懐かしい母校をご覧になるのはいかがでしょうか。

【池内浩二委員】

これまで校友会では活動状況等について、ホームページやブログ、メールマガジン、リーフレット等により会員の皆様方にお知らせをしておりますが、設立10年を期に企画し、この度会報創刊号を刊行することができました。些か遅すぎる感は否めませんが、校友会躍進のツールとして活用されますことを期待いたします。